

令和 6 年度

厚木市決算審査意見書

一般会計・特別会計
基金運用状況

厚木市監査委員

令和7年8月15日

厚木市長 山口 貴裕 様

厚木市監査委員 石 井 勝

厚木市監査委員 佐 野 良 人

厚木市監査委員 井 上 武

令和6年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況の
審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定に基づき、審査に付された令和6年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類並びに令和6年度の基金の運用状況を示す書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

目 次

| | | |
|----|------------------------|----|
| 第1 | 監査等の種類 | 5 |
| 第2 | 審査の対象 | 5 |
| 第3 | 審査の期間 | 5 |
| 第4 | 審査の方法 | 5 |
| 第5 | 審査の結果 | 5 |
| 第6 | 決算の概要 | 6 |
| 1 | 決算収支の状況 | 6 |
| 2 | 普通会計における財政指標の状況 | 9 |
| 3 | 市債の状況 | 12 |
| 4 | 財政調整基金の状況 | 13 |
| 5 | 一般会計 | 14 |
| | (1) 決算収支の状況 | 14 |
| | (2) 歳入の状況 | 15 |
| | (3) 歳出の状況 | 31 |
| 6 | 特別会計 | 42 |
| | (1) 決算収支の状況 | 42 |
| | (2) 歳入・歳出の状況 | 44 |
| | ア 公共用地取得事業特別会計 | 44 |
| | イ 後期高齢者医療事業特別会計 | 47 |
| | ウ 国民健康保険事業特別会計 | 50 |
| | エ 介護保険事業特別会計 | 53 |
| | オ 学校給食事業特別会計 | 56 |
| 第7 | 財産の状況 | 58 |
| 1 | 公有財産 | 58 |
| | (1) 土地及び建物 | 58 |
| | (2) 物権（地上権） | 58 |
| | (3) 有価証券 | 58 |
| | (4) 出資による権利 | 58 |
| 2 | 物品 | 58 |
| 3 | 資金積立基金 | 59 |
| 第8 | 定額資金運用基金運用状況（出産費用貸付基金） | 60 |
| | むすび | 61 |

(注)

- 1 文中及び表中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入してある。
このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中に用いる「ポイント」は、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 3 文中及び各表中の符号の用法は、次のとおりとした。

| | | |
|-----|-------|---------------------|
| 0.0 | | 該当数値が0又は単位未満 |
| — | | 該当数値がない又は算出不能 |
| △ | | 負数 |
| 著増 | | 算出結果が1,000%以上増加したもの |
| 著減 | | 算出結果が1,000%以上減少したもの |
| 皆増 | | 前年度に数値がなく全額増加したもの |
| 皆減 | | 当年度に数値がなく全額減少したもの |

第1 監査等の種類

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定に基づく審査

第2 審査の対象

令和6年度厚木市一般会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市学校給食事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算事項別明細書

令和6年度厚木市一般会計・特別会計実質収支に関する調書

令和6年度厚木市財産に関する調書

令和6年度定額資金運用基金運用状況書(厚木市出産費用貸付基金運用状況書)

第3 審査の期間

令和7年7月16日から令和7年8月7日まで

第4 審査の方法

審査に当たっては、各会計の歳入歳出決算書、同決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確に表示されているか確認するとともに、関係諸帳簿及び証書類と照合し、併せて例月出納検査及び財務監査の結果を参考に審査した。

定額資金運用基金の運用状況については、計数の確認及び管理・運用が确实、効率的に行われているかを審査した。

第5 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、同決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿等と照合審査した結果、正確なものと認められた。

定額資金運用基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿類と符合し、正確であり、管理・運用は適正であると認められた。

第6 決算の概要

1 決算収支の状況

一般会計及び特別会計の決算収支の状況は、次のとおりである。

【決算収支の状況】

(単位:円・%)

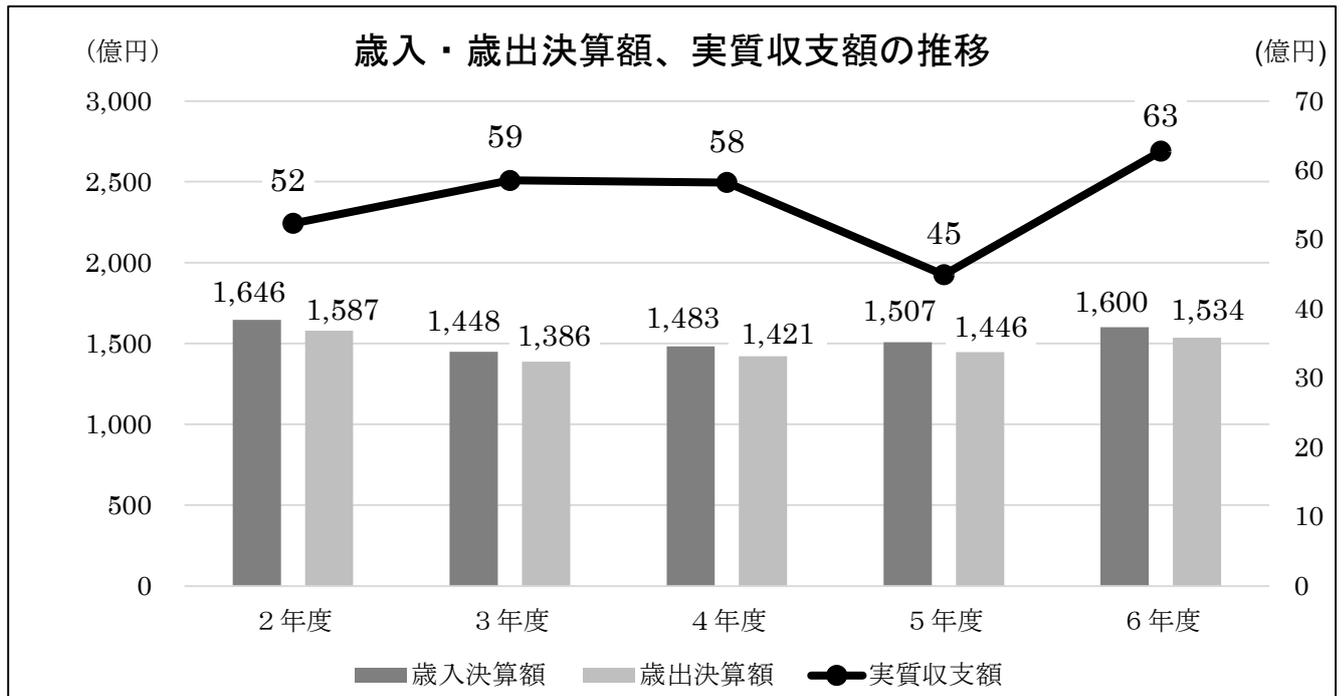
| 区 分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------------------------|-----------------|-----------------|----------------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 164,741,680,670 | 156,963,610,353 | 7,778,070,317 | 5.0 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 160,020,835,132 | 150,655,246,508 | 9,365,588,624 | 6.2 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 153,416,476,373 | 144,629,405,730 | 8,787,070,643 | 6.1 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C)(D) | 6,604,358,759 | 6,025,840,778 | 578,517,981 | 9.6 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 328,525,481 | 1,535,083,441 | △1,206,557,960 | △78.6 |
| 実 質 収 支 額 (D-E)(F) | 6,275,833,278 | 4,490,757,337 | 1,785,075,941 | 39.7 |
| 単年度収支額 (G) | 1,785,075,941 | △1,331,635,322 | 3,116,711,263 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入 160,020,835,132 円、歳出 153,416,476,373 円である。

決算額を前年度と比較すると、歳入が 9,365,588,624 円(6.2%)、歳出が 8,787,070,643 円(6.1%)増加している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は 6,604,358,759 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源 328,525,481 円を控除した実質収支額は 6,275,833,278 円である。

単年度収支額は 1,785,075,941 円の黒字となっている。



【歳入歳出決算総括表】

(単位:円)

| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引額 (形式収支) | 翌年度繰越 財源額 | 実質収支額 |
|---------------|-----------------|-----------------|-------------------|--------------|---------------|
| 一般会計 | 114,403,231,011 | 108,812,218,848 | 5,591,012,163 | 328,479,802 | 5,262,532,361 |
| 特別会計 | 45,617,604,121 | 44,604,257,525 | 1,013,346,596 | 45,679 | 1,013,300,917 |
| 公共用地 取得事業 | 791,831,776 | 791,786,097 | 45,679 | 45,679 | 0 |
| 後期高齢者 医療事業 | 4,169,864,364 | 4,130,842,382 | 39,021,982 | 0 | 39,021,982 |
| 国民健康 保険事業 | 21,444,584,315 | 21,275,083,147 | 169,501,168 | 0 | 169,501,168 |
| 介護保険 事業 | 18,328,807,536 | 17,524,029,769 | 804,777,767 | 0 | 804,777,767 |
| 学校給食 事業 | 882,516,130 | 882,516,130 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 160,020,835,132 | 153,416,476,373 | 6,604,358,759 | 328,525,481 | 6,275,833,278 |

【歳入歳出純計決算総括表】

(単位:円・%)

| 区 分 | 歳 入 | | 歳 出 | | 純計決算歳入 歳出差引額 (A)－(B) |
|---------------|---|---------------------|---|---------------------|----------------------------|
| | 決算額(a) | 純計決算額(A) (a)－(b) | 決算額(a) | 純計決算額(B) (a)－(b) | |
| | 重複計算 控除額(b) | | 重複計算 控除額(b) | | |
| 一 般 会 計 | 114,403,231,011 ----- 92,540,000 | 114,310,691,011 | 108,812,218,848 ----- 6,437,928,233 | 102,374,290,615 | 11,936,400,396 |
| 特 別 会 計 | 45,617,604,121 ----- 6,437,928,233 | 39,179,675,888 | 44,604,257,525 ----- 92,540,000 | 44,511,717,525 | △5,332,041,637 |
| 公共用地 取得事業 | 791,831,776 ----- 90,586,217 | 701,245,559 | 791,786,097 ----- 0 | 791,786,097 | △90,540,538 |
| 後期高齢者 医療事業 | 4,169,864,364 ----- 667,443,640 | 3,502,420,724 | 4,130,842,382 ----- 0 | 4,130,842,382 | △628,421,658 |
| 国民健康 保険事業 | 21,444,584,315 ----- 2,209,868,036 | 19,234,716,279 | 21,275,083,147 ----- 0 | 21,275,083,147 | △2,040,366,868 |
| 介護保険 事業 | 18,328,807,536 ----- 2,682,815,000 | 15,645,992,536 | 17,524,029,769 ----- 92,540,000 | 17,431,489,769 | △1,785,497,233 |
| 学校給食 事業 | 882,516,130 ----- 787,215,340 | 95,300,790 | 882,516,130 ----- 0 | 882,516,130 | △787,215,340 |
| 合 計 | 160,020,835,132 ----- 6,530,468,233 | 153,490,366,899 | 153,416,476,373 ----- 6,530,468,233 | 146,886,008,140 | 6,604,358,759 |
| 前年度合計 | — | 145,501,610,627 | — | 139,475,769,849 | 6,025,840,778 |
| 増 減 | — | 7,988,756,272 | — | 7,410,238,291 | 578,517,981 |
| 増減率 | — | 5.5 | — | 5.3 | 9.6 |

一般会計と特別会計相互間の繰出金・繰入金の重複額を控除した純計決算額を前年度と比較すると、歳入が7,988,756,272円(5.5%)、歳出が7,410,238,291円(5.3%)増加している。

2 普通会計における財政指標の状況

普通会計における財政指標の状況・推移は、次のとおりである。

※普通会計とは、総務省が実施する地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分である。

本市においては、一般会計、公共用地取得事業特別会計等の一部を合算したものである。

●財政力指数

財政力指数は1.17で、前年度と比較すると0.02ポイント上昇している。

単年度でみた同指数は、1.20で、前年度と比較すると0.02ポイント上昇している。

これは主に、地方特例交付金、固定資産税の増加に伴い、比率の分子となる、基準財政収入額が増加したことによるものである。

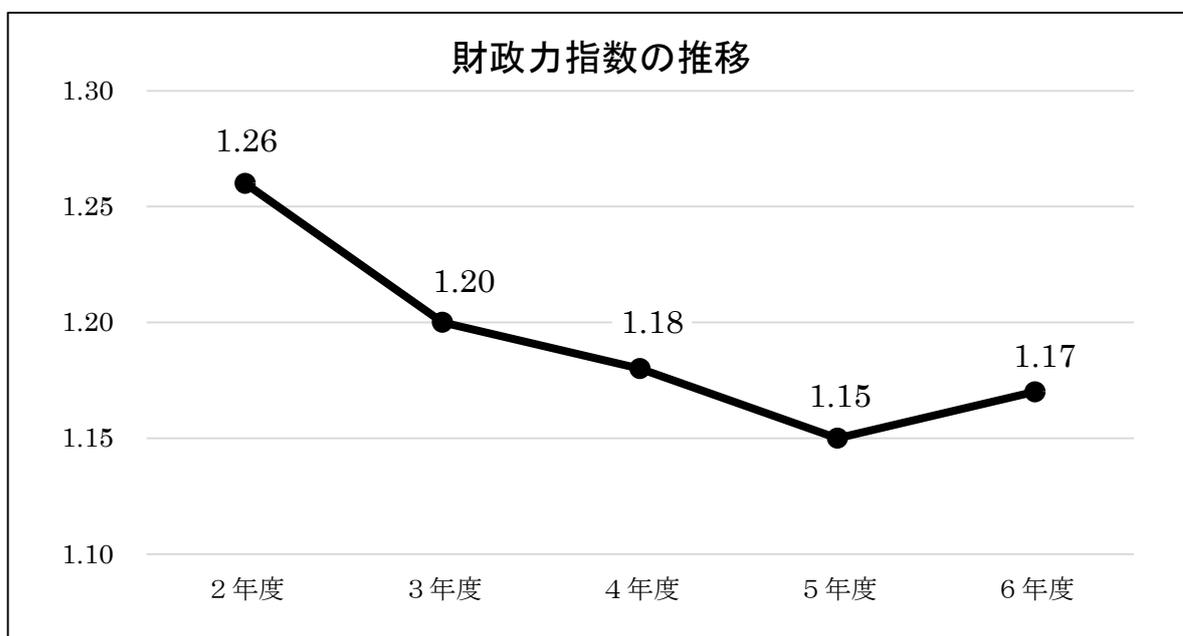
(単位:千円・%・ポイント)

| 区 分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|----------------|----------------|----------------|--------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 基準財政収入額 | 42,136,554 | 40,225,292 | 1,911,262 | 4.8 |
| 基準財政需要額 | 35,107,937 | 34,177,636 | 930,301 | 2.7 |
| 財政力指数 | 1.17 (1.20) | 1.15 (1.18) | 0.02 (0.02) | — — |

(算式:基準財政収入額÷基準財政需要額)

※財政力指数は過去3年間の平均値となっており、()内は単年度の数値である。

財政力指数は、地方公共団体の財政力の強弱を示す指標で、「1」を超える団体は普通交付税の不交付団体となる。なお、厚木市は、昭和39年度以降、普通交付税の不交付団体である。



●経常収支比率

経常収支比率は93.3%で、前年度と比較すると4.8ポイント上昇している。

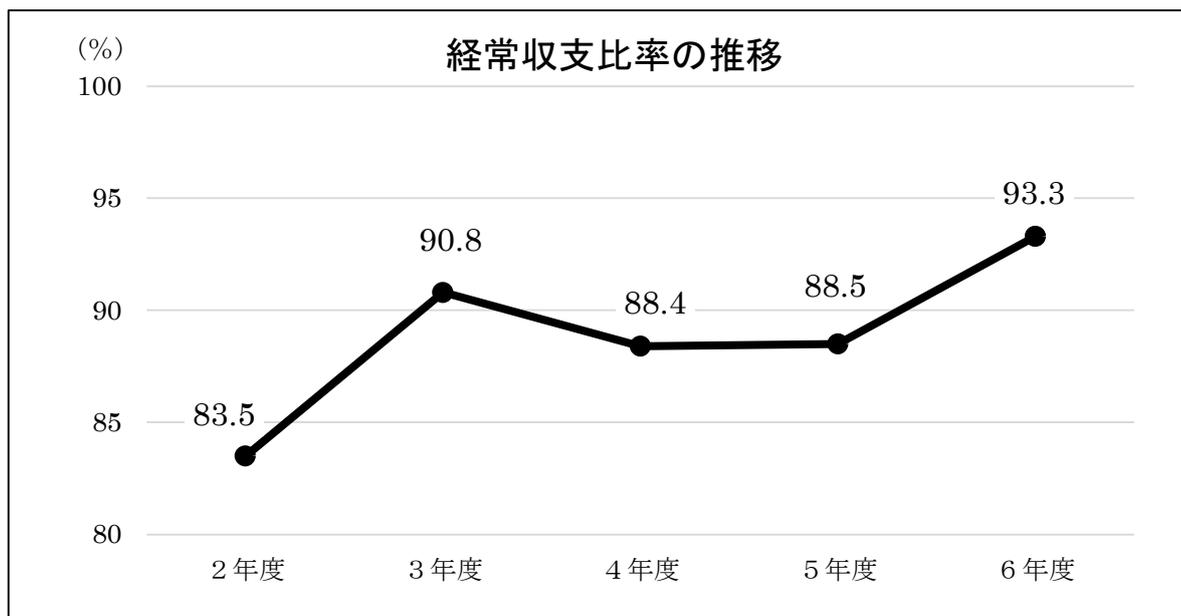
これは主に、定額減税減収補てん特例交付金の創設に伴い、比率の分母となる、経常一般財源総額が増加したものの、小中学校給食費を徴収しないことによる物件費の増加に伴い、比率の分子となる、経常経費に充当した経常一般財源額が増加し、増減率で経常一般財源総額を上回ったことによるものである。

(単位:千円・%・ポイント)

| 区 分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|----------------------|------------|------------|-----------|-----|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 経常経費に充当した 経常一般財源額 | 52,127,283 | 48,409,096 | 3,718,187 | 7.7 |
| 経常一般財源総額 | 55,891,450 | 54,684,105 | 1,207,345 | 2.2 |
| 経常収支比率 | 93.3 | 88.5 | 4.8 | — |

(算式:経常経費に充当した経常一般財源額÷経常一般財源総額×100)

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に、市税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源収入がどの程度充当されているかを示す比率である。比率が低いほど財政構造に弾力性が高いといわれている。



●実質収支比率

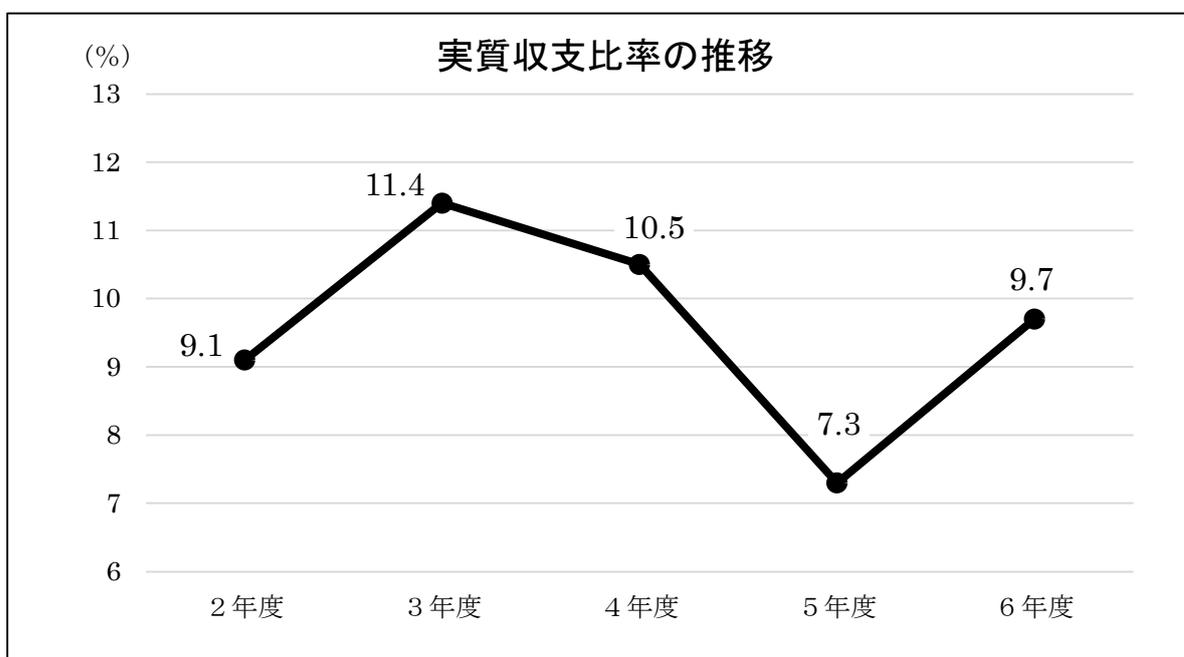
実質収支比率は9.7%で、前年度と比較すると2.4ポイント上昇している。
これは主に、比率の分子となる、実質収支額が増加したことによるものである。

(単位:千円・%・ポイント)

| 区 分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------------|------------|------------|-----------|------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 実 質 収 支 額 | 5,262,532 | 3,796,887 | 1,465,645 | 38.6 |
| 標 準 財 政 規 模 | 54,360,214 | 51,812,375 | 2,547,839 | 4.9 |
| 実 質 収 支 比 率 | 9.7 | 7.3 | 2.4 | — |

(算式:実質収支額÷標準財政規模×100)

実質収支比率は、財政の運営状況を判断する指標で、比率が一般的に3～5%が望ましいとされている。



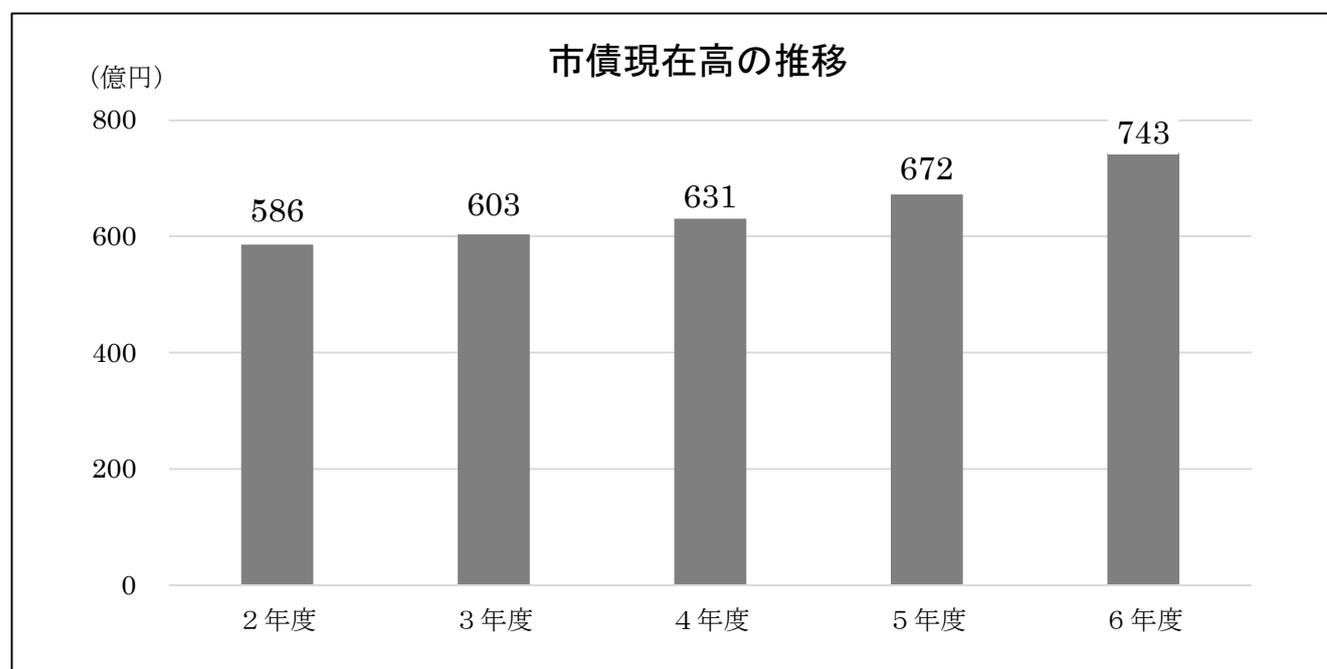
3 市債の状況

市債現在高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 区 分 | 5年度末 現在高 | 6年度 発行額 | 6年度 元金償還金額 | 6年度末 現在高 |
|-----------------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 一 般 会 計 | 65,375,914,053 | 12,996,900,000 | 5,136,486,584 | 73,236,327,469 |
| 特 別 会 計 (公共用地取得事業) | 1,831,482,370 | 28,100,000 | 761,990,117 | 1,097,592,253 |
| 合 計 | 67,207,396,423 | 13,025,000,000 | 5,898,476,701 | 74,333,919,722 |

本年度末の一般会計と特別会計を合わせた市債現在高は74,333,919,722円で、前年度末現在高67,207,396,423円と比較すると7,126,523,299円(10.6%)増加している。



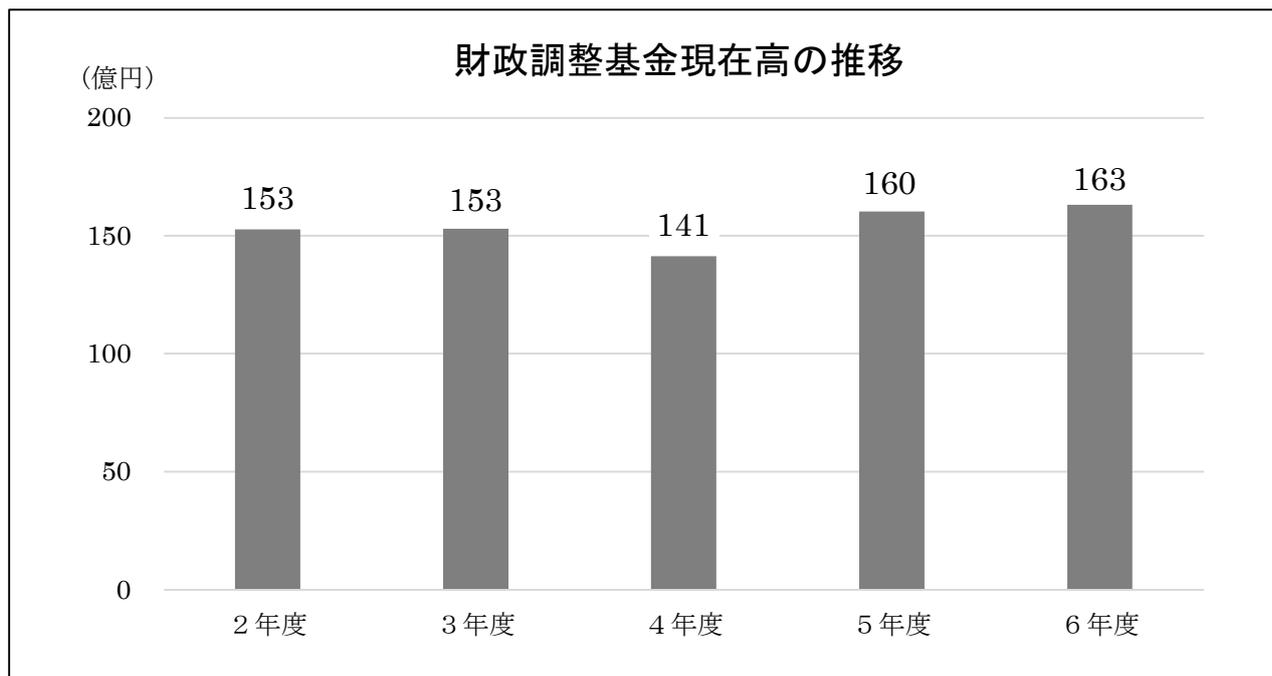
4 財政調整基金の状況

財政調整基金現在高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中 増減高 | 決算年度末 現在高 |
|-------------|----------------|--------------|----------------|
| 財 政 調 整 基 金 | 16,028,766,086 | 283,461,017 | 16,312,227,103 |

決算年度末現在高は、令和5年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金)49,919,000円が含まれ、令和6年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金)49,913,000円が含まれていない額である。



財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金であり、経済不況等による税収の大幅な減少や、災害などの不測の事態における支出に備え、財源に余裕がある年度に積み立てておくものである。

本年度決算年度末現在高は16,312,227,103円で、前年度末現在高16,028,766,086円と比較すると283,461,017円(1.8%)増加している。

5 一般会計

(1) 決算収支の状況

一般会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|---------------------------|-----------------|-----------------|----------------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 118,320,981,671 | 112,643,109,855 | 5,677,871,816 | 5.0 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 114,403,231,011 | 106,980,097,852 | 7,423,133,159 | 6.9 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 108,812,218,848 | 101,648,191,832 | 7,164,027,016 | 7.0 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C)(D) | 5,591,012,163 | 5,331,906,020 | 259,106,143 | 4.9 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 328,479,802 | 1,535,018,442 | △1,206,538,640 | △78.6 |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 5,262,532,361 | 3,796,887,578 | 1,465,644,783 | 38.6 |
| 単年度収支額 (G) | 1,465,644,783 | △1,389,810,275 | 2,855,455,058 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

一般会計の決算額は、歳入 114,403,231,011 円、歳出 108,812,218,848 円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が 7,423,133,159 円(6.9%)、歳出が 7,164,027,016 円(7.0%)増加している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は 5,591,012,163 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源 328,479,802 円を控除した実質収支額は 5,262,532,361 円である。

単年度収支額は 1,465,644,783 円の黒字となっている。

(2) 歳入の状況

一般会計の歳入決算の状況は、次のとおりである。

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|---------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 118,320,981,671 | 115,657,275,828 | 114,403,231,011 | 49,267,215 | 1,204,777,602 | 96.7 | 98.9 |
| 5 | 112,643,109,855 | 108,109,682,521 | 106,980,097,852 | 79,602,623 | 1,049,982,046 | 95.0 | 99.0 |
| 増減 | 5,677,871,816 | 7,547,593,307 | 7,423,133,159 | △30,335,408 | 154,795,556 | 1.7 | △0.1 |

予算現額 118,320,981,671 円に対し、収入済額は 114,403,231,011 円で、前年度と比較すると 7,423,133,159 円(6.9%)増加している。予算現額に対する収入率は 96.7%、調定額に対する収入率は 98.9%である。

歳入決算額を款別に前年度と比較すると、主なものは、市債が 3,618,000,000 円(38.6%)、国庫支出金が 1,321,207,140 円(6.9%)増加し、市税が 528,033,907 円(1.1%)、繰越金が 234,099,610 円(4.2%)減少している。

不納欠損額は 49,267,215 円で、前年度と比較すると 30,335,408 円(38.1%)減少している。

不納欠損額の主なものは、市税 32,556,092 円である。

収入未済額は 1,204,777,602 円で、前年度と比較すると 154,795,556 円(14.7%)増加している。収入未済額の主なものは、諸収入 612,222,050 円、市税 547,319,952 円である。

歳入決算額の内訳は、次のとおりである。

【款別歳入決算状況】

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|---------------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 5 市 税 | 46,528,858,000 | 48,284,458,048 | 47,704,582,004 | 32,556,092 | 547,319,952 | 102.5 | 98.8 |
| 10 地方譲与税 | 529,866,000 | 541,365,000 | 541,365,000 | 0 | 0 | 102.2 | 100.0 |
| 15 利子割交付金 | 14,000,000 | 17,412,000 | 17,412,000 | 0 | 0 | 124.4 | 100.0 |
| 18 配当割交付金 | 202,000,000 | 398,052,000 | 398,052,000 | 0 | 0 | 197.1 | 100.0 |
| 21 株式等譲渡所得割交付金 | 220,000,000 | 570,612,000 | 570,612,000 | 0 | 0 | 259.4 | 100.0 |
| 23 法人事業税金交付金 | 835,000,000 | 1,026,697,000 | 1,026,697,000 | 0 | 0 | 123.0 | 100.0 |
| 24 地方消費税交付金 | 6,100,000,000 | 6,358,101,000 | 6,358,101,000 | 0 | 0 | 104.2 | 100.0 |
| 27 ゴルフ場利用税金交付金 | 138,000,000 | 140,788,247 | 140,788,247 | 0 | 0 | 102.0 | 100.0 |
| 30 自動車取得税金交付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — |
| 31 環境性能割交付金 | 118,000,000 | 149,495,000 | 149,495,000 | 0 | 0 | 126.7 | 100.0 |
| 33 地方特例交付金 | 1,230,000,000 | 1,256,029,000 | 1,256,029,000 | 0 | 0 | 102.1 | 100.0 |
| 35 地方交付税 | 30,000,000 | 98,439,000 | 98,439,000 | 0 | 0 | 328.1 | 100.0 |
| 40 交通安全対策特別交付金 | 38,000,000 | 28,109,000 | 28,109,000 | 0 | 0 | 74.0 | 100.0 |
| 45 分担金及び負担金 | 376,890,000 | 377,272,031 | 372,528,404 | 506,500 | 4,237,127 | 98.8 | 98.7 |
| 50 使用料及び手数料 | 1,394,971,000 | 1,306,240,342 | 1,265,096,789 | 168,780 | 40,974,773 | 90.7 | 96.9 |
| 55 国庫支出金 | 23,340,174,229 | 20,394,287,181 | 20,394,287,181 | 0 | 0 | 87.4 | 100.0 |
| 60 県支出金 | 6,637,289,000 | 6,464,619,429 | 6,464,619,429 | 0 | 0 | 97.4 | 100.0 |
| 65 財産収入 | 394,395,000 | 424,678,080 | 424,654,380 | 0 | 23,700 | 107.7 | 100.0 |
| 70 寄附金 | 1,300,000,000 | 1,223,130,602 | 1,223,130,602 | 0 | 0 | 94.1 | 100.0 |
| 75 繰入金 | 3,156,091,000 | 3,368,702,788 | 3,368,702,788 | 0 | 0 | 106.7 | 100.0 |
| 80 繰越金 | 5,331,905,442 | 5,331,906,020 | 5,331,906,020 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 85 諸収入 | 4,408,542,000 | 4,899,982,060 | 4,271,724,167 | 16,035,843 | 612,222,050 | 96.9 | 87.2 |
| 90 市 債 | 15,997,000,000 | 12,996,900,000 | 12,996,900,000 | 0 | 0 | 81.2 | 100.0 |
| 合 計 | 118,320,981,671 | 115,657,275,828 | 114,403,231,011 | 49,267,215 | 1,204,777,602 | 96.7 | 98.9 |

歳入決算額を自主財源と依存財源に区分すると、次のとおりである。

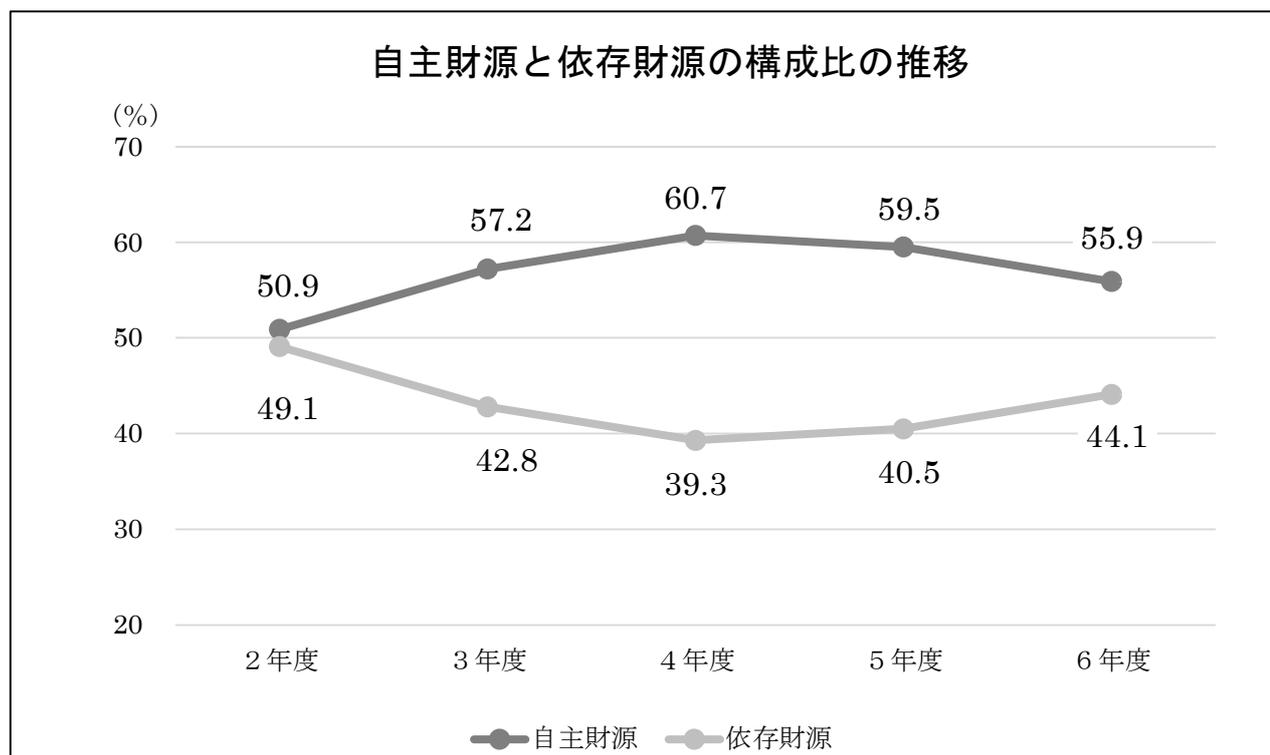
【財源別歳入決算状況】

(単位:円・%)

| 区 分 | 6年度 | | 5年度 | | 対前年度 | | |
|------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|---------------|-------|
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減 | 増減率 | |
| 自主財源 | 市 税 | 47,704,582,004 | 41.7 | 48,232,615,911 | 45.1 | △528,033,907 | △1.1 |
| | 分担金及び負担金 | 372,528,404 | 0.3 | 393,422,504 | 0.4 | △20,894,100 | △5.3 |
| | 使用料及び手数料 | 1,265,096,789 | 1.1 | 1,278,117,020 | 1.2 | △13,020,231 | △1.0 |
| | 財 産 収 入 | 424,654,380 | 0.4 | 392,776,816 | 0.3 | 31,877,564 | 8.1 |
| | 寄 附 金 | 1,223,130,602 | 1.1 | 1,072,770,333 | 1.0 | 150,360,269 | 14.0 |
| | 繰 入 金 | 3,368,702,788 | 2.9 | 2,804,021,157 | 2.6 | 564,681,631 | 20.1 |
| | 繰 越 金 | 5,331,906,020 | 4.7 | 5,566,005,630 | 5.2 | △234,099,610 | △4.2 |
| | 諸 収 入 | 4,271,724,167 | 3.7 | 3,933,117,749 | 3.7 | 338,606,418 | 8.6 |
| | 小 計 | 63,962,325,154 | 55.9 | 63,672,847,120 | 59.5 | 289,478,034 | 0.5 |
| 依存財源 | 地方譲与税 | 541,365,000 | 0.5 | 539,266,000 | 0.5 | 2,099,000 | 0.4 |
| | 利子割交付金 | 17,412,000 | 0.0 | 11,768,000 | 0.0 | 5,644,000 | 48.0 |
| | 配当割交付金 | 398,052,000 | 0.3 | 290,582,000 | 0.3 | 107,470,000 | 37.0 |
| | 株式等譲渡所得割交付金 | 570,612,000 | 0.5 | 322,155,000 | 0.3 | 248,457,000 | 77.1 |
| | 法人事業税交付金 | 1,026,697,000 | 0.9 | 958,924,000 | 0.9 | 67,773,000 | 7.1 |
| | 地方消費税交付金 | 6,358,101,000 | 5.6 | 6,022,317,000 | 5.6 | 335,784,000 | 5.6 |
| | ゴルフ場利用税交付金 | 140,788,247 | 0.1 | 140,881,412 | 0.1 | △93,165 | △0.1 |
| | 自動車取得税交付金 | 0 | 0.0 | 4,332,726 | 0.0 | △4,332,726 | 皆減 |
| | 環境性能割交付金 | 149,495,000 | 0.1 | 134,455,000 | 0.1 | 15,040,000 | 11.2 |
| | 地方特例交付金 | 1,256,029,000 | 1.1 | 222,264,000 | 0.2 | 1,033,765,000 | 465.1 |
| | 地方交付税 | 98,439,000 | 0.1 | 36,404,000 | 0.1 | 62,035,000 | 170.4 |
| | 交通安全対策特別交付金 | 28,109,000 | 0.0 | 30,301,000 | 0.0 | △2,192,000 | △7.2 |
| | 国庫支出金 | 20,394,287,181 | 17.8 | 19,073,080,041 | 17.8 | 1,321,207,140 | 6.9 |
| | 県 支 出 金 | 6,464,619,429 | 5.7 | 6,141,620,553 | 5.8 | 322,998,876 | 5.3 |
| 市 債 | 12,996,900,000 | 11.4 | 9,378,900,000 | 8.8 | 3,618,000,000 | 38.6 | |
| 小 計 | 50,440,905,857 | 44.1 | 43,307,250,732 | 40.5 | 7,133,655,125 | 16.5 | |
| 合 計 | 114,403,231,011 | 100.0 | 106,980,097,852 | 100.0 | 7,423,133,159 | 6.9 | |

歳入決算額を財源別で見ると、自主財源の総額は 63,962,325,154 円で、前年度と比較すると、289,478,034 円(0.5%)増加している。これは主に、市税が 528,033,907 円(1.1%)減少したものの、繰入金金が 564,681,631 円(20.1%)、諸収入が 338,606,418 円(8.6%)増加したことによるものである。歳入総額に占める割合は 55.9%で、前年度と比較すると 3.6 ポイント低下している。

一方、依存財源の総額は 50,440,905,857 円で、前年度と比較すると 7,133,655,125 円(16.5%)増加している。これは主に、市債が 3,618,000,000 円(38.6%)、国庫支出金が 1,321,207,140 円(6.9%)、地方特例交付金が 1,033,765,000 円(465.1%)増加したことによるものである。歳入総額に占める割合は 44.1%で、前年度と比較すると 3.6 ポイント上昇している。



第5款 市税

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-------------|-------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 46,528,858,000 | 48,284,458,048 | 47,704,582,004 | 32,556,092 | 547,319,952 | 102.5 | 98.8 |
| 5 | 47,839,657,000 | 48,853,499,868 | 48,232,615,911 | 71,953,857 | 548,930,100 | 100.8 | 98.7 |
| 増減 | △1,310,799,000 | △569,041,820 | △528,033,907 | △39,397,765 | △1,610,148 | 1.7 | 0.1 |

市税の収入済額は47,704,582,004円で、前年度と比較すると528,033,907円(1.1%)減少している。

【税目別対前年度比較】

(単位:円・%)

| 区 分 | 6年度 | | 5年度 | | 対前年度 | |
|-------------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------|
| | 収入済額 | 対調定 収入率 | 収入済額 | 対調定 収入率 | 増減 | 増減率 |
| 市 民 税 | 21,129,121,851 | 98.1 | 22,457,669,334 | 98.1 | △1,328,547,483 | △5.9 |
| 個 人 | 14,800,842,510 | 97.4 | 15,470,197,883 | 97.5 | △669,355,373 | △4.3 |
| 法 人 | 6,328,279,341 | 99.6 | 6,987,471,451 | 99.6 | △659,192,110 | △9.4 |
| 固 定 資 産 税 | 21,423,716,382 | 99.4 | 20,724,945,769 | 99.2 | 698,770,613 | 3.4 |
| 固定資産税 | 21,336,707,082 | 99.4 | 20,637,493,969 | 99.2 | 699,213,113 | 3.4 |
| 国有資産等所在 市町村交付金 | 87,009,300 | 100.0 | 87,451,800 | 100.0 | △442,500 | △0.5 |
| 軽 自 動 車 税 | 549,500,846 | 96.9 | 520,984,640 | 97.1 | 28,516,206 | 5.5 |
| 環境性能割 | 47,879,100 | 100.0 | 34,111,400 | 100.0 | 13,767,700 | 40.4 |
| 種 別 割 | 501,621,746 | 96.6 | 486,873,240 | 96.9 | 14,748,506 | 3.0 |
| 市 た ば こ 税 | 2,026,861,241 | 100.0 | 2,032,732,230 | 100.0 | △5,870,989 | △0.3 |
| 入 湯 税 | 2,560,800 | 100.0 | 2,774,250 | 100.0 | △213,450 | △7.7 |
| 都 市 計 画 税 | 2,572,820,884 | 99.4 | 2,493,509,688 | 99.1 | 79,311,196 | 3.2 |
| 合 計 | 47,704,582,004 | 98.8 | 48,232,615,911 | 98.7 | △528,033,907 | △1.1 |

市税収入を税目別に前年度と比較すると、主なものは、固定資産税が699,213,113円(3.4%)増加し、個人市民税が669,355,373円(4.3%)、法人市民税が659,192,110円(9.4%)減少している。

市税を現年課税分・滞納繰越分別にみると、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-----|-------|----------------|----------------|------------|-------------|------|
| 6年度 | 現年課税分 | 47,695,873,894 | 47,448,623,444 | 1,172,313 | 246,078,137 | 99.5 |
| | 滞納繰越分 | 588,584,154 | 255,958,560 | 31,383,779 | 301,241,815 | 43.5 |
| | 合計 | 48,284,458,048 | 47,704,582,004 | 32,556,092 | 547,319,952 | 98.8 |
| 5年度 | 現年課税分 | 48,333,293,204 | 48,019,884,055 | 2,105,607 | 311,303,542 | 99.4 |
| | 滞納繰越分 | 520,206,664 | 212,731,856 | 69,848,250 | 237,626,558 | 40.9 |
| | 合計 | 48,853,499,868 | 48,232,615,911 | 71,953,857 | 548,930,100 | 98.7 |
| 4年度 | 現年課税分 | 46,799,638,557 | 46,536,322,889 | 217,679 | 263,097,989 | 99.4 |
| | 滞納繰越分 | 429,738,156 | 197,178,407 | 38,099,868 | 194,459,881 | 45.9 |
| | 合計 | 47,229,376,713 | 46,733,501,296 | 38,317,547 | 457,557,870 | 99.0 |

【市税収入率の推移】

(単位:%)

| 年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 現年課税分 | 99.4 | 99.5 | 99.4 | 99.4 | 99.5 |
| 滞納繰越分 | 56.2 | 62.6 | 45.9 | 40.9 | 43.5 |
| 合計 | 99.0 | 99.1 | 99.0 | 98.7 | 98.8 |

収入率は98.8%で、前年度より0.1ポイント上昇している。このうち、現年課税分の収入率は99.5%で、前年度より0.1ポイント上昇している。また、滞納繰越分の収入率は43.5%で、前年度より2.6ポイント上昇している。これは主に、軽自動車税種別割滞納繰越分が4.4ポイント低下し31.7%としたものの、固定資産税滞納繰越分が16.9ポイント上昇し50.9%としたことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位:円・%)

| 税目 | 区分 | 不納欠損額 | | | 収入未済額 | | |
|-----------|-----|------------|------------|-------|-------------|-------------|------|
| | | 6年度 | 5年度 | 増減率 | 6年度 | 5年度 | 増減率 |
| 市 民 税 | | 28,318,559 | 29,697,809 | △4.6 | 389,297,360 | 394,473,516 | △1.3 |
| | 個 人 | 26,905,451 | 23,847,322 | 12.8 | 362,509,882 | 372,560,389 | △2.7 |
| | 法 人 | 1,413,108 | 5,850,487 | △75.8 | 26,787,478 | 21,913,127 | 22.2 |
| 固 定 資 産 税 | | 2,949,252 | 36,247,135 | △91.9 | 125,217,802 | 123,555,209 | 1.3 |
| 軽 自 動 車 税 | | 899,249 | 799,540 | 12.5 | 16,524,265 | 14,628,308 | 13.0 |
| 都 市 計 画 税 | | 389,032 | 5,209,373 | △92.5 | 16,280,525 | 16,273,067 | 0.0 |
| 合 計 | | 32,556,092 | 71,953,857 | △54.8 | 547,319,952 | 548,930,100 | △0.3 |

不納欠損額は 32,556,092 円で、前年度と比較すると 39,397,765 円(54.8%)減少している。

これは主に、固定資産税が 33,297,883 円(91.9%)減少したことによるものである。

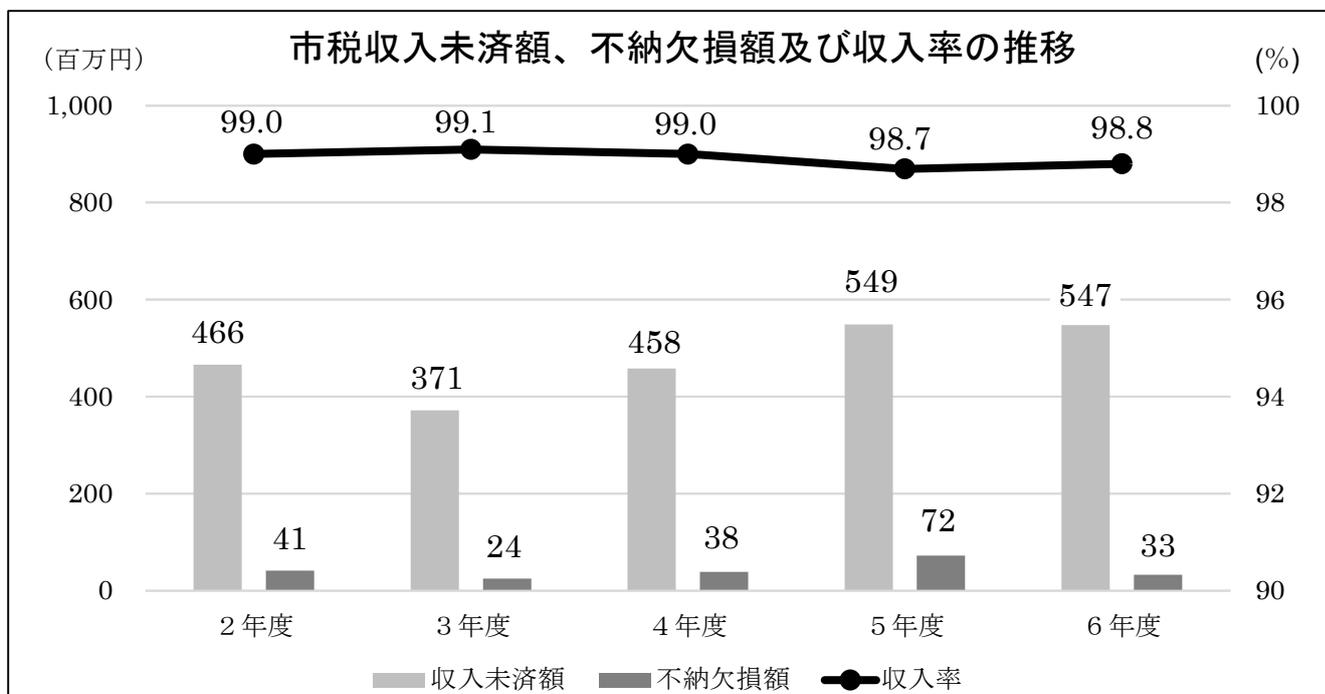
収入未済額は 547,319,952 円で、前年度と比較すると 1,610,148 円(0.3%)減少している。

これは主に、法人市民税が 4,874,351 円(22.2%)、軽自動車税が 1,895,957(13.0%)増加したものの、個人市民税が 10,050,507 円(2.7%)減少したことによるものである。

不納欠損の事由別内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 事由 税目 | 執行停止(3年) による消滅 | 今後徴収不能 | 時効(5年) による消滅 | 合 計 | 前年度 不納欠損額 | 増 減 |
|----------|-------------------|-------------------|-----------------|------------|--------------|-------------|
| | 地方税法 第15条の7第4項 | 地方税法 第15条の7第5項 | 地方税法 第18条第1項 | | | |
| 市 民 税 | 15,656,675 | 7,679,293 | 4,982,591 | 28,318,559 | 29,697,809 | △1,379,250 |
| 個 人 | 15,656,675 | 6,778,785 | 4,469,991 | 26,905,451 | 23,847,322 | 3,058,129 |
| 法 人 | 0 | 900,508 | 512,600 | 1,413,108 | 5,850,487 | △4,437,379 |
| 固定資産税 | 1,425,847 | 1,106,316 | 417,089 | 2,949,252 | 36,247,135 | △33,297,883 |
| 軽自動車税 | 287,195 | 235,337 | 376,717 | 899,249 | 799,540 | 99,709 |
| 都市計画税 | 206,422 | 131,599 | 51,011 | 389,032 | 5,209,373 | △4,820,341 |
| 合 計 | 17,576,139 | 9,152,545 | 5,827,408 | 32,556,092 | 71,953,857 | △39,397,765 |



第10款 地方譲与税

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 529,866,000 | 541,365,000 | 541,365,000 | 0 | 0 | 102.2 | 100.0 |
| 5 | 526,210,000 | 539,266,000 | 539,266,000 | 0 | 0 | 102.5 | 100.0 |
| 増減 | 3,656,000 | 2,099,000 | 2,099,000 | 0 | 0 | △0.3 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|----------|----|-------------|-------------|------------|------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 地方揮発油譲与税 | | 125,148,000 | 126,962,000 | △1,814,000 | △1.4 |
| 自動車重量譲与税 | | 382,990,000 | 382,756,000 | 234,000 | 0.1 |
| 森林環境譲与税 | | 33,227,000 | 29,548,000 | 3,679,000 | 12.5 |
| 合計 | | 541,365,000 | 539,266,000 | 2,099,000 | 0.4 |

地方譲与税は、本来地方税に属すべき税源を、形式上一旦国税として徴収し、これを国が客観的基準によって地方公共団体に対して譲与するもので、541,365,000円譲与された。

地方譲与税の収入済額を前年度と比較すると2,099,000円(0.4%)増加している。

第15款 利子割交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 14,000,000 | 17,412,000 | 17,412,000 | 0 | 0 | 124.4 | 100.0 |
| 5 | 14,000,000 | 11,768,000 | 11,768,000 | 0 | 0 | 84.1 | 100.0 |
| 増減 | 0 | 5,644,000 | 5,644,000 | 0 | 0 | 40.3 | 0.0 |

利子割交付金は、金融機関等の預貯金利子等の支払を受ける際に課税された県税の一部を県が市に対して交付するもので、17,412,000円交付された。

利子割交付金の収入済額を前年度と比較すると5,644,000円(48.0%)増加している。

第18款 配当割交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 202,000,000 | 398,052,000 | 398,052,000 | 0 | 0 | 197.1 | 100.0 |
| 5 | 202,000,000 | 290,582,000 | 290,582,000 | 0 | 0 | 143.9 | 100.0 |
| 増減 | 0 | 107,470,000 | 107,470,000 | 0 | 0 | 53.2 | 0.0 |

配当割交付金は、上場株式等の配当に課税された一部を、県が個人県民税の額に応じて、市に対して交付するもので、398,052,000円交付された。

配当割交付金の収入済額を前年度と比較すると107,470,000円(37.0%)増加している。

第21款 株式等譲渡所得割交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 220,000,000 | 570,612,000 | 570,612,000 | 0 | 0 | 259.4 | 100.0 |
| 5 | 220,000,000 | 322,155,000 | 322,155,000 | 0 | 0 | 146.4 | 100.0 |
| 増減 | 0 | 248,457,000 | 248,457,000 | 0 | 0 | 113.0 | 0.0 |

株式等譲渡所得割交付金は、株式等の譲渡をする際に課税された県税の一部を県が市に対して交付するもので、570,612,000円交付された。

株式等譲渡所得割交付金の収入済額を前年度と比較すると248,457,000円(77.1%)増加している。

第23款 法人事業税交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 835,000,000 | 1,026,697,000 | 1,026,697,000 | 0 | 0 | 123.0 | 100.0 |
| 5 | 815,000,000 | 958,924,000 | 958,924,000 | 0 | 0 | 117.7 | 100.0 |
| 増減 | 20,000,000 | 67,773,000 | 67,773,000 | 0 | 0 | 5.3 | 0.0 |

法人事業税交付金は、法人事業税の一部を、県が市町村の従業員数に応じて、市に対して交付するもので、1,026,697,000円交付された。

法人事業税交付金の収入済額を前年度と比較すると67,773,000円(7.1%)増加している。

第24款 地方消費税交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 6,100,000,000 | 6,358,101,000 | 6,358,101,000 | 0 | 0 | 104.2 | 100.0 |
| 5 | 5,689,000,000 | 6,022,317,000 | 6,022,317,000 | 0 | 0 | 105.9 | 100.0 |
| 増減 | 411,000,000 | 335,784,000 | 335,784,000 | 0 | 0 | △1.7 | 0.0 |

地方消費税交付金の収入済額は6,358,101,000円で、前年度と比較すると335,784,000円(5.6%)増加している。

第27款 ゴルフ場利用税交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 138,000,000 | 140,788,247 | 140,788,247 | 0 | 0 | 102.0 | 100.0 |
| 5 | 138,000,000 | 140,881,412 | 140,881,412 | 0 | 0 | 102.1 | 100.0 |
| 増減 | 0 | △93,165 | △93,165 | 0 | 0 | △0.1 | 0.0 |

ゴルフ場利用税交付金の収入済額は140,788,247円で、前年度と比較すると93,165円(0.1%)減少している。

第30款 自動車取得税交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------|------------|------------|-------|-------|-----|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — |
| 5 | 0 | 4,332,726 | 4,332,726 | 0 | 0 | — | 100.0 |
| 増減 | 0 | △4,332,726 | △4,332,726 | 0 | 0 | — | — |

自動車取得税交付金は、交付されなかった。

なお、令和元年度税制改正により、令和元年10月1日以降、自動車取得税は廃止され、環境性能割が導入されているが、滞納繰越分や遡って課税した場合は、旧法により交付される。

第31款 環境性能割交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 118,000,000 | 149,495,000 | 149,495,000 | 0 | 0 | 126.7 | 100.0 |
| 5 | 118,000,000 | 134,455,000 | 134,455,000 | 0 | 0 | 113.9 | 100.0 |
| 増減 | 0 | 15,040,000 | 15,040,000 | 0 | 0 | 12.8 | 0.0 |

環境性能割交付金の収入済額は149,495,000円で、前年度と比較すると15,040,000円(11.2%)増加している。

第33款 地方特例交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 1,230,000,000 | 1,256,029,000 | 1,256,029,000 | 0 | 0 | 102.1 | 100.0 |
| 5 | 224,000,000 | 222,264,000 | 222,264,000 | 0 | 0 | 99.2 | 100.0 |
| 増減 | 1,006,000,000 | 1,033,765,000 | 1,033,765,000 | 0 | 0 | 2.9 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 目 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|----|---------------|-------------|---------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 地方特例交付金 | | 205,763,000 | 213,288,000 | △7,525,000 | △3.5 |
| 定額減税減収補てん特例交付金 | | 1,042,657,000 | 0 | 1,042,657,000 | 皆増 |
| 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金 | | 7,609,000 | 8,976,000 | △1,367,000 | △15.2 |
| 合計 | | 1,256,029,000 | 222,264,000 | 1,033,765,000 | 465.1 |

地方特例交付金の収入済額は1,256,029,000円で、前年度と比較すると1,033,765,000円(465.1%)増加している。

これは主に、定額減税減収補てん特例交付金が創設され、国から1,042,657,000円交付されたことによるものです。

第 35 款 地方交付税

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 30,000,000 | 98,439,000 | 98,439,000 | 0 | 0 | 328.1 | 100.0 |
| 5 | 30,000,000 | 36,404,000 | 36,404,000 | 0 | 0 | 121.3 | 100.0 |
| 増減 | 0 | 62,035,000 | 62,035,000 | 0 | 0 | 206.8 | 0.0 |

地方交付税は、地方交付税法に基づき所得税、法人税、酒税、消費税、地方法人税から交付されるもので、普通交付税と特別交付税により構成されている。

普通交付税は、地方交付税法の規定により算定される基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体(財源不足団体)に対し交付されるが、本市においては昭和 39 年度以降不交付団体となっている。特別交付税は、普通交付税で捕捉されなかった特別の財政需要について算定され、98,439,000 円が交付された。

地方交付税(特別交付税)の収入済額を前年度と比較すると 62,035,000 円(170.4%)増加している。

第 40 款 交通安全対策特別交付金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------------|------------|------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 38,000,000 | 28,109,000 | 28,109,000 | 0 | 0 | 74.0 | 100.0 |
| 5 | 38,000,000 | 30,301,000 | 30,301,000 | 0 | 0 | 79.7 | 100.0 |
| 増減 | 0 | △2,192,000 | △2,192,000 | 0 | 0 | △5.7 | 0.0 |

交通安全対策特別交付金は、道路交通安全施設の設置や管理に必要な経費に充てるために、道路交通法に定める反則金を財源として、国が市に対して交付するもので 28,109,000 円交付された。

交通安全対策特別交付金の収入済額を前年度と比較すると 2,192,000 円(7.2%)減少している。

第45款 分担金及び負担金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 376,890,000 | 377,272,031 | 372,528,404 | 506,500 | 4,237,127 | 98.8 | 98.7 |
| 5 | 355,485,000 | 401,577,982 | 393,422,504 | 1,133,600 | 7,021,878 | 110.7 | 98.0 |
| 増減 | 21,405,000 | △24,305,951 | △20,894,100 | △627,100 | △2,784,751 | △11.9 | 0.7 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 民生費負担金 | 352,773,671 | 366,730,994 | △13,957,323 | △3.8 |
| 土木費負担金 | 19,754,733 | 26,691,510 | △6,936,777 | △26.0 |
| 合計 | 372,528,404 | 393,422,504 | △20,894,100 | △5.3 |

分担金及び負担金の収入済額は372,528,404円で、前年度と比較すると20,894,100円(5.3%)減少している。

これは主に、民生費負担金の民間保育所保育料が12,764,175円(3.5%)、土木費負担金の路面復旧監督事務費負担金が6,936,777円(26.0%)減少したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て保育料である。

第50款 使用料及び手数料

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|---------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 1,394,971,000 | 1,306,240,342 | 1,265,096,789 | 168,780 | 40,974,773 | 90.7 | 96.9 |
| 5 | 1,394,823,000 | 1,317,478,100 | 1,278,117,020 | 60,150 | 39,300,930 | 91.6 | 97.0 |
| 増減 | 148,000 | △11,237,758 | △13,020,231 | 108,630 | 1,673,843 | △0.9 | △0.1 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-----|---------------|---------------|-------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 使用料 | 700,039,952 | 716,294,910 | △16,254,958 | △2.3 |
| 手数料 | 565,056,837 | 561,822,110 | 3,234,727 | 0.6 |
| 合計 | 1,265,096,789 | 1,278,117,020 | △13,020,231 | △1.0 |

使用料及び手数料の収入済額は1,265,096,789円で、前年度と比較すると13,020,231円(1.0%)減少している。

これは主に、使用料の斎場使用料が8,637,000円(10.7%)増加したものの、自転車等駐車場使用料が16,245,350円(13.2%)減少したことによるものである。

不納欠損額は、放課後児童クラブ育成料(滞納繰越分)160,000円及びし尿処理手数料(滞納繰越分)8,780円である。

収入未済額の主なものは、市営住宅使用料滞納繰越分34,140,080円である。

第55款 国庫支出金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 23,340,174,229 | 20,394,287,181 | 20,394,287,181 | 0 | 0 | 87.4 | 100.0 |
| 5 | 21,325,397,078 | 19,073,080,041 | 19,073,080,041 | 0 | 0 | 89.4 | 100.0 |
| 増減 | 2,014,777,151 | 1,321,207,140 | 1,321,207,140 | 0 | 0 | △2.0 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------|----|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 国庫負担金 | | 11,046,374,383 | 10,213,475,559 | 832,898,824 | 8.2 |
| 国庫補助金 | | 9,196,514,640 | 8,798,811,697 | 397,702,943 | 4.5 |
| 委託金 | | 151,398,158 | 60,792,785 | 90,605,373 | 149.0 |
| 合計 | | 20,394,287,181 | 19,073,080,041 | 1,321,207,140 | 6.9 |

国庫支出金の収入済額は20,394,287,181円で、前年度と比較すると1,321,207,140円(6.9%)増加している。

これは主に、国庫補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が972,501,000円(皆減)減少したものの、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が1,777,939,089円(111.7%)、国庫負担金の児童手当負担金が490,090,109円(23.9%)増加したことによるものである。

第60款 県支出金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 6,637,289,000 | 6,464,619,429 | 6,464,619,429 | 0 | 0 | 97.4 | 100.0 |
| 5 | 6,240,839,000 | 6,141,620,553 | 6,141,620,553 | 0 | 0 | 98.4 | 100.0 |
| 増減 | 396,450,000 | 322,998,876 | 322,998,876 | 0 | 0 | △1.0 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|------|----|---------------|---------------|-------------|------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 県負担金 | | 4,556,917,219 | 4,269,598,434 | 287,318,785 | 6.7 |
| 県補助金 | | 1,507,062,937 | 1,436,452,503 | 70,610,434 | 4.9 |
| 委託金 | | 400,639,273 | 435,569,616 | △34,930,343 | △8.0 |
| 合計 | | 6,464,619,429 | 6,141,620,553 | 322,998,876 | 5.3 |

県支出金の収入済額は6,464,619,429円で、前年度と比較すると322,998,876円(5.3%)増加している。

これは主に、県補助金の重層的支援体制整備事業交付金が121,965,000円(皆増)、県負担金の子どものための教育・保育給付費県費負担金が108,531,875円(9.0%)、障害者自立支援給付費等負担金が103,480,757円(9.3%)増加したことによるものである。

第65款 財産収入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|--------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 394,395,000 | 424,678,080 | 424,654,380 | 0 | 23,700 | 107.7 | 100.0 |
| 5 | 333,003,000 | 392,800,516 | 392,776,816 | 0 | 23,700 | 117.9 | 100.0 |
| 増減 | 61,392,000 | 31,877,564 | 31,877,564 | 0 | 0 | △10.2 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|--------|-------------|-------------|------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 財産運用収入 | 254,436,172 | 226,637,490 | 27,798,682 | 12.3 |
| 財産売払収入 | 170,218,208 | 166,139,326 | 4,078,882 | 2.5 |
| 合計 | 424,654,380 | 392,776,816 | 31,877,564 | 8.1 |

財産収入の収入済額は424,654,380円で、前年度と比較すると31,877,564円(8.1%)増加している。

これは主に、財産運用収入の財政調整基金利子が22,743,460円(106.8%)、学校施設整備基金利子が11,827,838円(233.6%)増加したことによるものである。

収入未済額は、全て建物貸付収入である。

第70款 寄附金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 1,300,000,000 | 1,223,130,602 | 1,223,130,602 | 0 | 0 | 94.1 | 100.0 |
| 5 | 1,450,000,000 | 1,072,770,333 | 1,072,770,333 | 0 | 0 | 74.0 | 100.0 |
| 増減 | △150,000,000 | 150,360,269 | 150,360,269 | 0 | 0 | 20.1 | 0.0 |

寄附金の収入済額は1,223,130,602円で、前年度と比較すると150,360,269円(14.0%)増加している。

第75款 繰入金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 3,156,091,000 | 3,368,702,788 | 3,368,702,788 | 0 | 0 | 106.7 | 100.0 |
| 5 | 3,463,673,000 | 2,804,021,157 | 2,804,021,157 | 0 | 0 | 81.0 | 100.0 |
| 増減 | △307,582,000 | 564,681,631 | 564,681,631 | 0 | 0 | 25.7 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|--------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 他会計繰入金 | 92,540,000 | 35,330,463 | 57,209,537 | 161.9 |
| 基金繰入金 | 3,276,162,788 | 2,768,690,694 | 507,472,094 | 18.3 |
| 合計 | 3,368,702,788 | 2,804,021,157 | 564,681,631 | 20.1 |

繰入金の収入済額は 3,368,702,788 円で、前年度と比較すると 564,681,631 円(20.1%)増加している。

これは主に、基金繰入金の財政調整基金繰入金(ふるさと納税等分)が 367,553,858 円(25.3%)減少したものの、財政調整基金繰入金(法人市民税還付分)が 446,601,000 円(34.6%)、庁舎整備基金繰入金(皆増)が 440,000,000 円(皆増)増加したことによるものである。

第 80 款 繰越金

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 5,331,905,442 | 5,331,906,020 | 5,331,906,020 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 5 | 5,566,004,777 | 5,566,005,630 | 5,566,005,630 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増減 | △234,099,335 | △234,099,610 | △234,099,610 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |

繰越金の収入済額は 5,331,906,020 円で、前年度と比較すると 234,099,610 円(4.2%)減少している。

収入済額の内訳は、前年度繰越金 3,796,887,578 円、継続費通次繰越 707,041,003 円、繰越明許費 827,977,439 円である。

第 85 款 諸収入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|------------|-------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 4,408,542,000 | 4,899,982,060 | 4,271,724,167 | 16,035,843 | 612,222,050 | 96.9 | 87.2 |
| 5 | 3,945,818,000 | 4,394,278,203 | 3,933,117,749 | 6,455,016 | 454,705,438 | 99.7 | 89.5 |
| 増減 | 462,724,000 | 505,703,857 | 338,606,418 | 9,580,827 | 157,516,612 | △2.8 | △2.3 |

【収入済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 延滞金、加算金及び過料 | 50,319,613 | 43,347,290 | 6,972,323 | 16.1 |
| 市預金利子 | 3,198,182 | 75,760 | 3,122,422 | 著増 |
| 貸付金元利収入 | 2,035,957,869 | 1,883,574,173 | 152,383,696 | 8.1 |
| 雑収入 | 2,182,248,503 | 2,006,120,526 | 176,127,977 | 8.8 |
| 合計 | 4,271,724,167 | 3,933,117,749 | 338,606,418 | 8.6 |

諸収入の収入済額は 4,271,724,167 円で、前年度と比較すると 338,606,418 円(8.6%)増加している。

これは主に、雑入の学校給食費(小学校・現年分)が 430,468,720 円(98.5%)、学校給食費(中学校・現年分)が 229,663,890 円(98.7%)減少したものの、デジタル基盤改革支援補助金が 669,756,000 円(著増)、新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金が 111,460,700 円(皆増)、貸付金元利収入の病院事業貸付金元利収入が 103,356,829 円(279.8%)増加したことによるものである。

不納欠損額の内訳は、生活保護費返還金(滞納繰越分)15,189,423 円、児童扶養手当返納金 846,420 円である。

収入未済額の主なものは、地域改善事業住宅新築等資金貸付金元利収入 266,038,147 円、生活保護費返還金(滞納繰越分)233,954,322 円である。

第90款 市債

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 15,997,000,000 | 12,996,900,000 | 12,996,900,000 | 0 | 0 | 81.2 | 100.0 |
| 5 | 12,714,200,000 | 9,378,900,000 | 9,378,900,000 | 0 | 0 | 73.8 | 100.0 |
| 増減 | 3,282,800,000 | 3,618,000,000 | 3,618,000,000 | 0 | 0 | 7.4 | 0.0 |

市債の収入済額は12,996,900,000円で、前年度と比較すると3,618,000,000円(38.6%)増加している。

市債(目的別)の現在高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 目的別 | 5年度末 現在高 | 6年度 発行額 | 6年度 元金償還金額 | 6年度末 現在高 |
|---------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 総務債 | 915,674,632 | 4,210,400,000 | 36,415,192 | 5,089,659,440 |
| 民生債 | 1,227,892,307 | 83,700,000 | 158,103,696 | 1,153,488,611 |
| 衛生債 | 2,876,768,127 | 236,900,000 | 107,690,205 | 3,005,977,922 |
| 農林債 | 685,931,147 | 62,200,000 | 69,386,618 | 678,744,529 |
| 商工債 | 977,424,317 | 87,200,000 | 49,062,236 | 1,015,562,081 |
| 土木債 | 37,483,833,843 | 4,338,700,000 | 2,378,938,939 | 39,443,594,904 |
| 公営住宅債 | 1,452,820,117 | 6,900,000 | 105,445,117 | 1,354,275,000 |
| 消防債 | 2,046,260,420 | 111,100,000 | 165,359,137 | 1,992,001,283 |
| 教育債 | 9,831,238,242 | 1,209,800,000 | 838,978,678 | 10,202,059,564 |
| 減収補てん債 | 775,971,522 | 0 | 123,636,075 | 652,335,447 |
| 減税補てん債 | 129,479,312 | 0 | 64,675,810 | 64,803,502 |
| 臨時財政対策債 | 4,139,733,033 | 0 | 813,872,570 | 3,325,860,463 |
| 調整債 | 2,832,887,034 | 2,650,000,000 | 224,922,311 | 5,257,964,723 |
| 合計 | 65,375,914,053 | 12,996,900,000 | 5,136,486,584 | 73,236,327,469 |

本年度末の市債現在高は73,236,327,469円で、前年度末現在高65,375,914,053円と比較すると7,860,413,416円(12.0%)増加している。

これは主に、衛生債の発行額が2,211,300,000円(90.3%)減少したものの、文化会館リニューアル事業等に伴い、総務債の発行額が4,016,400,000円(著増)、複合施設建設事業等に伴い、土木債の発行額が819,200,000円(23.3%)、厚木北公民館整備事業等に伴い、教育債の発行が788,900,000円(187.4%)増加したことによるものである。

(3) 歳出の状況

一般会計の歳出決算の状況は、次のとおりである。

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | | | 不用額 | 執行率 |
|----|-----------------|-----------------|----------------|---------------|-----------|---------------|------|
| | | | 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | | |
| 6 | 118,320,981,671 | 108,812,218,848 | 1,083,807,930 | 2,821,431,446 | 0 | 5,603,523,447 | 92.0 |
| 5 | 112,643,109,855 | 101,648,191,832 | 2,401,149,003 | 2,891,843,668 | 0 | 5,701,925,352 | 90.2 |
| 増減 | 5,677,871,816 | 7,164,027,016 | △1,317,341,073 | △70,412,222 | 0 | △98,401,905 | 1.8 |

予算現額 118,320,981,671 円に対し、支出済額は 108,812,218,848 円で、前年度と比較すると 7,164,027,016 円(7.0%)増加している。予算現額に対する執行率は 92.0%である。

歳出決算額を款別に前年度と比較すると、主なものは、民生費が 4,200,469,114 円(10.5%)、総務費が 3,885,703,875 円(29.5%)増加し、衛生費が 2,805,328,182 円(19.8%)減少している。

翌年度繰越額は 3,905,239,376 円で、前年度と比較すると 1,387,753,295 円(26.2%)減少している。翌年度繰越額の主なものは、土木費 2,117,738,902 円、教育費 925,744,330 円である。

不用額は 5,603,523,447 円で、前年度と比較すると 98,401,905 円(1.7%)減少している。不用額の主なものは、民生費 2,254,642,568 円、土木費 1,002,528,507 円である。

歳出決算額の内訳は、次のとおりである。

【款別歳出決算状況】

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | | | 不用額 | 執行率 |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|------------|---------------|------|
| | | | 継 続 費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事 故 繰越し | | |
| 5 議会費 | 451,747,000 | 423,658,307 | 0 | 0 | 0 | 28,088,693 | 93.8 |
| 10 総務費 | 17,775,458,894 | 17,049,391,158 | 0 | 31,618,400 | 0 | 694,449,336 | 95.9 |
| 15 民生費 | 46,725,931,096 | 44,171,004,454 | 0 | 300,284,074 | 0 | 2,254,642,568 | 94.5 |
| 20 衛生費 | 12,549,132,342 | 11,372,553,171 | 33,715,700 | 428,546,000 | 0 | 714,317,471 | 90.6 |
| 25 労働費 | 308,383,000 | 287,033,166 | 0 | 0 | 0 | 21,349,834 | 93.1 |
| 30 農林水 産業費 | 950,688,000 | 909,239,861 | 0 | 0 | 0 | 41,448,139 | 95.6 |
| 35 商工費 | 3,450,312,000 | 3,351,433,746 | 5,318,395 | 0 | 0 | 93,559,859 | 97.1 |
| 40 土木費 | 15,542,512,579 | 12,422,245,170 | 1,031,467,900 | 1,086,271,002 | 0 | 1,002,528,507 | 79.9 |
| 45 消防費 | 3,704,965,494 | 3,500,304,951 | 13,305,935 | 48,967,640 | 0 | 142,386,968 | 94.5 |
| 50 教育費 | 11,285,574,000 | 9,852,471,305 | 0 | 925,744,330 | 0 | 507,358,365 | 87.3 |
| 60 公債費 | 5,559,755,000 | 5,472,883,559 | 0 | 0 | 0 | 86,871,441 | 98.4 |
| 70 予備費 | 16,522,266 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,522,266 | 0.0 |
| 合 計 | 118,320,981,671 | 108,812,218,848 | 1,083,807,930 | 2,821,431,446 | 0 | 5,603,523,447 | 92.0 |

【款別歳出決算対前年度比較】

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | | 5 年度 | | 対前年度 | |
|---------------|-----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|
| | 支出済額 | 構成比 | 支出済額 | 構成比 | 増減 | 増減率 |
| 5 議会費 | 423,658,307 | 0.4 | 411,781,677 | 0.4 | 11,876,630 | 2.9 |
| 10 総務費 | 17,049,391,158 | 15.7 | 13,163,687,283 | 13.0 | 3,885,703,875 | 29.5 |
| 15 民生費 | 44,171,004,454 | 40.6 | 39,970,535,340 | 39.3 | 4,200,469,114 | 10.5 |
| 20 衛生費 | 11,372,553,171 | 10.4 | 14,177,881,353 | 13.9 | △2,805,328,182 | △19.8 |
| 25 労働費 | 287,033,166 | 0.3 | 234,359,880 | 0.2 | 52,673,286 | 22.5 |
| 30 農林水 産業費 | 909,239,861 | 0.8 | 841,840,986 | 0.8 | 67,398,875 | 8.0 |
| 35 商工費 | 3,351,433,746 | 3.1 | 3,558,164,888 | 3.5 | △206,731,142 | △5.8 |
| 40 土木費 | 12,422,245,170 | 11.4 | 11,483,995,717 | 11.3 | 938,249,453 | 8.2 |
| 45 消防費 | 3,500,304,951 | 3.2 | 3,104,887,256 | 3.1 | 395,417,695 | 12.7 |
| 50 教育費 | 9,852,471,305 | 9.1 | 9,534,390,335 | 9.4 | 318,080,970 | 3.3 |
| 60 公債費 | 5,472,883,559 | 5.0 | 5,166,667,117 | 5.1 | 306,216,442 | 5.9 |
| 70 予備費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 合 計 | 108,812,218,848 | 100.0 | 101,648,191,832 | 100.0 | 7,164,027,016 | 7.0 |

歳出決算額を性質別に区分すると、次のとおりである。

【性質別歳出決算状況】

(単位:千円・%)

| 区 分 | 6年度 | | 5年度 | | 対前年度 | |
|---------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------|
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減 | 増減率 |
| 消費的経費 | 73,554,270 | 67.6 | 68,993,746 | 67.9 | 4,560,524 | 6.6 |
| 人件費 | 16,873,833 | 15.5 | 15,800,129 | 15.5 | 1,073,704 | 6.8 |
| 物件費 | 16,573,965 | 15.3 | 15,767,505 | 15.5 | 806,460 | 5.1 |
| 維持補修費 | 1,768,023 | 1.6 | 1,811,019 | 1.8 | △42,996 | △2.4 |
| 扶助費 | 29,843,253 | 27.4 | 27,128,574 | 26.7 | 2,714,679 | 10.0 |
| 補助費等 | 8,495,196 | 7.8 | 8,486,519 | 8.4 | 8,677 | 0.1 |
| 投資的経費 | 16,264,049 | 14.9 | 12,721,538 | 12.5 | 3,542,511 | 27.8 |
| 普通建設事業費 | 16,264,049 | 14.9 | 12,721,538 | 12.5 | 3,542,511 | 27.8 |
| 災害復旧事業費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| その他の経費 | 18,993,900 | 17.5 | 19,932,908 | 19.6 | △939,008 | △4.7 |
| 公債費 | 5,472,884 | 5.0 | 5,166,667 | 5.1 | 306,217 | 5.9 |
| 繰出金 | 8,349,794 | 7.7 | 6,943,667 | 6.8 | 1,406,127 | 20.3 |
| その他 | 5,171,222 | 4.8 | 7,822,574 | 7.7 | △2,651,352 | △33.9 |
| 合 計 | 108,812,219 | 100.0 | 101,648,192 | 100.0 | 7,164,027 | 7.0 |

歳出決算額を性質別で見ると、消費的経費は73,554,270千円で、前年度と比較すると4,560,524千円(6.6%)増加している。

これは主に、補助金等の定額減税調整給付金給付事業費が1,395,410千円(皆増)増加したことによるものである。

歳出総額に占める割合は67.6%で、前年度と比較すると0.3ポイント低下している。

投資的経費は16,264,049千円で、前年度と比較すると3,542,511千円(27.8%)増加している。

これは主に、普通建設事業費の文化会館リニューアル事業費が4,373,797千円(皆増)増加したことによるものである。

歳出総額に占める割合は14.9%で、前年度と比較すると2.4ポイント上昇している。

その他の経費は18,993,900千円で、前年度と比較すると939,008千円(4.7%)減少している。

これは主に、繰出金の学校給食事業特別会計繰出金が667,176千円(皆増)増加したものの、その他の財政調整基金積立金(法人市民税還付準備分)が1,738,054千円(皆減)減少したことによるものである。

歳出総額に占める割合は17.5%で、前年度と比較すると2.1ポイント低下している。

第5款 議会費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|--------|-------------|------|
| 6 | 451,747,000 | 423,658,307 | 0 | 28,088,693 | 93.8 |
| 5 | 450,684,000 | 411,781,677 | 0 | 38,902,323 | 91.4 |
| 増減 | 1,063,000 | 11,876,630 | 0 | △10,813,630 | 2.4 |

議会費の支出済額は423,658,307円で、前年度と比較すると11,876,630円(2.9%)増加している。

これは主に、議員報酬等が16,396,541円(6.6%)増加したことによるものである。

不用額は28,088,693円で、前年度と比較すると10,813,630円(27.8%)減少している。

第10款 総務費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|-------------|---------------|------|
| 6 | 17,775,458,894 | 17,049,391,158 | 31,618,400 | 694,449,336 | 95.9 |
| 5 | 14,222,463,000 | 13,163,687,283 | 52,357,000 | 1,006,418,717 | 92.6 |
| 増減 | 3,552,995,894 | 3,885,703,875 | △20,738,600 | △311,969,381 | 3.3 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-----------|----|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 総務管理費 | | 9,127,253,301 | 9,530,048,548 | △402,795,247 | △4.2 |
| 企画文化費 | | 5,977,704,929 | 1,409,558,057 | 4,568,146,872 | 324.1 |
| 徴税費 | | 999,277,082 | 1,333,705,403 | △334,428,321 | △25.1 |
| 戸籍住民基本台帳費 | | 694,147,881 | 608,060,967 | 86,086,914 | 14.2 |
| 選挙費 | | 147,548,652 | 202,510,694 | △54,962,042 | △27.1 |
| 統計調査費 | | 41,523,864 | 26,710,166 | 14,813,698 | 55.5 |
| 監査委員費 | | 61,935,449 | 53,093,448 | 8,842,001 | 16.7 |
| 合計 | | 17,049,391,158 | 13,163,687,283 | 3,885,703,875 | 29.5 |

総務費の支出済額は17,049,391,158円で、前年度と比較すると3,885,703,875円(29.5%)増加している。

これは主に、総務管理費の財政調整基金積立金(法人市民税還付準備分)が1,738,054,000円(皆減)減少したものの、企画文化費の文化会館リニューアル事業費が4,432,691,386円(著増)、総務管理費の基幹系情報システム運営事業費が474,703,654円(126.9%)、職員給与費(一般職)が395,847,094円(14.3%)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は3事業、31,618,400円であり、内訳は、七沢自然ふれあいセンター施設改修事業費(長寿命化)15,928,000円、税制事務費9,860,400円、七沢自然ふれあいセンター維持補修事業費5,830,000円の繰越明許費である。

不用額は694,449,336円で、前年度と比較すると311,969,381円(31.0%)減少している。

第15款 民生費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|---------------|---------------|------|
| 6 | 46,725,931,096 | 44,171,004,454 | 300,284,074 | 2,254,642,568 | 94.5 |
| 5 | 42,232,315,000 | 39,970,535,340 | 1,086,411,096 | 1,175,368,564 | 94.6 |
| 増減 | 4,493,616,096 | 4,200,469,114 | △786,127,022 | 1,079,274,004 | △0.1 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------|----------------|----------------|---------------|------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 社会福祉費 | 21,198,482,841 | 18,284,528,051 | 2,913,954,790 | 15.9 |
| 児童福祉費 | 16,289,495,408 | 15,063,910,595 | 1,225,584,813 | 8.1 |
| 生活保護費 | 6,682,136,205 | 6,622,026,694 | 60,109,511 | 0.9 |
| 災害救助費 | 890,000 | 70,000 | 820,000 | 著増 |
| 合計 | 44,171,004,454 | 39,970,535,340 | 4,200,469,114 | 10.5 |

民生費の支出済額は44,171,004,454円で、前年度と比較すると4,200,469,114円(10.5%)増加している。

これは主に、社会福祉費の定額減税調整給付金給付事業費が1,395,410,000円(皆増)、障害者日中活動支援事業費が459,134,662円(12.4%)、児童福祉費の児童手当支給経費が463,100,000円(15.6%)、入所児童保育委託費が398,558,683円(10.9%)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は7事業、300,284,074円であり、主なものは、物価高騰緊急支援給付金給付事業費194,760,000円、物価高騰緊急支援給付金給付事務費57,648,689円、子ども加算緊急支援給付金給付事業費37,080,000円の繰越明許費である。

不用額は2,254,642,568円で、前年度と比較すると1,079,274,004円(91.8%)増加している。

第20款 衛生費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|-------------|---------------|------|
| 6 | 12,549,132,342 | 11,372,553,171 | 462,261,700 | 714,317,471 | 90.6 |
| 5 | 15,578,009,775 | 14,177,881,353 | 25,565,342 | 1,374,563,080 | 91.0 |
| 増減 | △3,028,877,433 | △2,805,328,182 | 436,696,358 | △660,245,609 | △0.4 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 保健衛生費 | 6,109,661,810 | 5,983,439,550 | 126,222,260 | 2.1 |
| 清掃費 | 5,262,891,361 | 8,194,441,803 | △2,931,550,442 | △35.8 |
| 合計 | 11,372,553,171 | 14,177,881,353 | △2,805,328,182 | △19.8 |

衛生費の支出済額は11,372,553,171円で、前年度と比較すると2,805,328,182円(19.8%)減少している。

これは主に、清掃費のふれあいプラザ再整備事業費が2,825,827,764円(皆減)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は4事業、462,261,700円であり、内訳は、熱導管・自営線整備事業費(継続費)33,715,700円の継続費通次繰越、公共施設脱炭素化推進事業費414,163,000円、母子保健予防接種事業費9,907,000円、次世代自動車充電インフラ管理事業費4,476,000円の繰越明許費である。

不用額は714,317,471円で、前年度と比較すると660,245,609円(48.0%)減少している。

第25款 労働費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|--------|------------|------|
| 6 | 308,383,000 | 287,033,166 | 0 | 21,349,834 | 93.1 |
| 5 | 247,334,000 | 234,359,880 | 0 | 12,974,120 | 94.8 |
| 増減 | 61,049,000 | 52,673,286 | 0 | 8,375,714 | △1.7 |

労働費の支出済額は287,033,166円で、前年度と比較すると52,673,286円(22.5%)増加している。

これは主に、勤労者生活資金預託金が50,000,000円(33.3%)増加したことによるものである。

不用額は21,349,834円で、前年度と比較すると8,375,714円(64.6%)増加している。

第30款 農林水産業費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|------------|-------------|------|
| 6 | 950,688,000 | 909,239,861 | 0 | 41,448,139 | 95.6 |
| 5 | 901,989,000 | 841,840,986 | 3,421,000 | 56,727,014 | 93.3 |
| 増減 | 48,699,000 | 67,398,875 | △3,421,000 | △15,278,875 | 2.3 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---|----|-------------|-------------|------------|------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 農 | 業 | 827,495,969 | 776,702,602 | 50,793,367 | 6.5 |
| 林 | 業 | 81,743,892 | 65,138,384 | 16,605,508 | 25.5 |
| 合 | 計 | 909,239,861 | 841,840,986 | 67,398,875 | 8.0 |

農林水産業費の支出済額は909,239,861円で、前年度と比較すると67,398,875円(8.0%)増加している。

これは主に、農業費の産地パワーアップ事業費補助金が65,620,000円(皆減)、小沢地区農業水利施設予防保全事業負担金が31,046,400円(皆減)減少したものの、大型農産物直売所整備事業補助金が150,000,000円(皆増)増加したことによるものである。

不用額は41,448,139円で、前年度と比較すると15,278,875円(26.9%)減少している。

第35款 商工費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|-------------|-------------|------|
| 6 | 3,450,312,000 | 3,351,433,746 | 5,318,395 | 93,559,859 | 97.1 |
| 5 | 3,694,850,000 | 3,558,164,888 | 23,263,000 | 113,422,112 | 96.3 |
| 増減 | △244,538,000 | △206,731,142 | △17,944,605 | △19,862,253 | 0.8 |

商工費の支出済額は3,351,433,746円で、前年度と比較すると206,731,142円(5.8%)減少している。

これは主に、アミューあつぎ改修事業費(中長期保全)が216,029,000円(68.5%)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、観光施設改修事業費(長寿命化)(継続費)5,318,395円の継続費逐次繰越である。

不用額は93,559,859円で、前年度と比較すると19,862,253円(17.5%)減少している。

第40款 土木費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|---------------|---------------|------|
| 6 | 15,542,512,579 | 12,422,245,170 | 2,117,738,902 | 1,002,528,507 | 79.9 |
| 5 | 15,443,718,880 | 11,483,995,717 | 3,060,147,579 | 899,575,584 | 74.4 |
| 増減 | 98,793,699 | 938,249,453 | △942,408,677 | 102,952,923 | 5.5 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|----|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 土木管理費 | | 1,162,032,854 | 1,167,328,029 | △5,295,175 | △0.5 |
| 道路橋りょう費 | | 3,350,729,580 | 3,545,219,711 | △194,490,131 | △5.5 |
| 河川費 | | 226,886,893 | 267,738,922 | △40,852,029 | △15.3 |
| 都市計画費 | | 7,374,906,586 | 6,074,062,130 | 1,300,844,456 | 21.4 |
| 住宅費 | | 307,689,257 | 429,646,925 | △121,957,668 | △28.4 |
| 合計 | | 12,422,245,170 | 11,483,995,717 | 938,249,453 | 8.2 |

土木費の支出済額は12,422,245,170円で、前年度と比較すると938,249,453円(8.2%)増加している。

これは主に、都市計画費の酒井土地区画整理事業補助金が380,000,000円(95.0%)減少したものの、複合施設建設事業費(継続費)が1,337,237,400円(著増)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は16事業、2,117,738,902円であり、主なものは、複合施設建設事業費(継続費)896,576,200円、生活道路整備事業費(継続費)133,780,300円の継続費逡次繰越、道路整備用地取得事業費300,211,076円、本厚木下津古久線街路整備事業費255,767,973円の繰越明許費である。

不用額は1,002,528,507円で、前年度と比較すると102,952,923円(11.4%)増加している。

第45款 消防費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 6 | 3,704,965,494 | 3,500,304,951 | 62,273,575 | 142,386,968 | 94.5 |
| 5 | 3,348,810,589 | 3,104,887,256 | 26,335,654 | 217,587,679 | 92.7 |
| 増減 | 356,154,905 | 395,417,695 | 35,937,921 | △75,200,711 | 1.8 |

消防費の支出済額は3,500,304,951円で、前年度と比較すると395,417,695円(12.7%)増加している。

これは主に、職員給与費が152,055,583円(6.5%)、浸水防止対策事業補助金が97,837,000円(著増)、消防庁舎改修事業費(長寿命化)(継続費)が51,692,065円(513.8%)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は3事業、62,273,575円であり、内訳は、消防庁舎改修事業費(長寿命化)(継続費)13,305,935円の継続費逓次繰越、災害対策事業費46,293,000円、災害時医療対策事業費2,674,640円の繰越明許費である。

不用額は142,386,968円で、前年度と比較すると75,200,711円(34.6%)減少している。

第50款 教育費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|---------------|---------------|-------------|------|
| 6 | 11,285,574,000 | 9,852,471,305 | 925,744,330 | 507,358,365 | 87.3 |
| 5 | 11,127,643,100 | 9,534,390,335 | 1,015,492,000 | 577,760,765 | 85.7 |
| 増減 | 157,930,900 | 318,080,970 | △89,747,670 | △70,402,400 | 1.6 |

【支出済額の内訳】

(単位:円・%)

| 項 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------|----|---------------|---------------|---------------|-------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 教育総務費 | | 2,471,327,367 | 2,488,906,657 | △17,579,290 | △0.7 |
| 小学校費 | | 2,649,944,598 | 3,076,615,958 | △426,671,360 | △13.9 |
| 中学校費 | | 1,344,493,389 | 1,731,105,359 | △386,611,970 | △22.3 |
| 社会教育費 | | 2,616,277,974 | 1,449,039,271 | 1,167,238,703 | 80.6 |
| 保健体育費 | | 770,427,977 | 788,723,090 | △18,295,113 | △2.3 |
| 合計 | | 9,852,471,305 | 9,534,390,335 | 318,080,970 | 3.3 |

教育費の支出済額は9,852,471,305円で、前年度と比較すると318,080,970円(3.3%)増加している。

これは主に、教育総務費の学校施設整備基金積立金が988,172,162円(98.3%)減少したものの、社会教育費の厚木北公民館整備事業費(継続費)が1,028,641,400円(著増)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は8事業、925,744,330円であり、主なものは、小学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2)411,577,000円、中学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2)213,902,000円、中学校校庭整備事業費(その2)155,000,000円、中学校体育館冷暖房設備設置事業費(その2)113,800,000円の繰越明許費である。

不用額は507,358,365円で、前年度と比較すると70,402,400円(12.2%)減少している。

第60款 公債費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|--------|--------------|------|
| 6 | 5,559,755,000 | 5,472,883,559 | 0 | 86,871,441 | 98.4 |
| 5 | 5,353,662,000 | 5,166,667,117 | 0 | 186,994,883 | 96.5 |
| 増減 | 206,093,000 | 306,216,442 | 0 | △100,123,442 | 1.9 |

公債費の支出済額は5,472,883,559円で、前年度と比較すると306,216,442円(5.9%)増加している。これは主に、市債元金償還金(財政課分)が250,534,069円(5.1%)増加したことによるものである。不用額は86,871,441円で、前年度と比較すると100,123,442円(53.5%)減少している。

第70款 予備費

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 当初予算額 | 補正予算額 | 充用額 | 不用額 | 充用率 |
|----|-------------|-------|------------|-------------|------|
| 6 | 100,000,000 | 0 | 83,477,734 | 16,522,266 | 83.5 |
| 5 | 100,000,000 | 0 | 58,369,489 | 41,630,511 | 58.4 |
| 増減 | 0 | 0 | 25,108,245 | △25,108,245 | 25.1 |

予備費の充用額は83,477,734円で、前年度と比較すると25,108,245円(43.0%)増加している。

充用額の内訳は、消防費(災害対策事業費等)48,556,840円、教育費(単独調理場維持管理事業費等)19,576,000円、総務費(防犯灯維持管理事業費等)11,829,894円、土木費(排水路維持補修事業費)2,365,000円、民生費(災害見舞金支給等事業費)655,000円、衛生費(斎場維持管理事業費)495,000円である。

6 特別会計

(1) 決算収支の状況

特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|---------------------------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 46,420,698,999 | 44,320,500,498 | 2,100,198,501 | 4.7 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 45,617,604,121 | 43,675,148,656 | 1,942,455,465 | 4.4 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 44,604,257,525 | 42,981,213,898 | 1,623,043,627 | 3.8 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C)(D) | 1,013,346,596 | 693,934,758 | 319,411,838 | 46.0 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 45,679 | 64,999 | △19,320 | △29.7 |
| 実 質 収 支 額 (D-E)(F) | 1,013,300,917 | 693,869,759 | 319,431,158 | 46.0 |
| 単年度収支額 (G) | 319,431,158 | 58,174,953 | 261,256,205 | 449.1 |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

【歳入歳出決算総括表】

(単位:円)

| 区分 会計別 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引 額(形式収支) | 翌年度繰越 財源額 | 実質収支額 |
|---------------|----------------|----------------|-------------------|--------------|---------------|
| 公共用地 取得事業 | 791,831,776 | 791,786,097 | 45,679 | 45,679 | 0 |
| 後期高齢者 医療事業 | 4,169,864,364 | 4,130,842,382 | 39,021,982 | 0 | 39,021,982 |
| 国民健康 保険事業 | 21,444,584,315 | 21,275,083,147 | 169,501,168 | 0 | 169,501,168 |
| 介護保 険事業 | 18,328,807,536 | 17,524,029,769 | 804,777,767 | 0 | 804,777,767 |
| 学校給食 事業 | 882,516,130 | 882,516,130 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 45,617,604,121 | 44,604,257,525 | 1,013,346,596 | 45,679 | 1,013,300,917 |

特別会計は、公共用地取得事業特別会計をはじめとする5特別会計である。

特別会計の決算総額は、歳入45,617,604,121円、歳出44,604,257,525円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が1,942,455,465円(4.4%)、歳出が1,623,043,627円(3.8%)増加している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は1,013,346,596円となり、翌年度へ繰り越すべき財源45,679円を控除した実質収支額は1,013,300,917円である。

単年度収支額は319,431,158円の黒字となっている。

【一般会計からの繰入状況】

(単位:円・%)

| 区分 会計別 | 6年度 | | 5年度 | | 対前年度 | |
|-----------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|------|
| | 繰入額 | 一般会計 繰入割合 | 繰入額 | 一般会計 繰入割合 | 増減 | 増減率 |
| 公共用地取得事業 | 90,586,217 | 11.4 | 54,721,068 | 3.8 | 35,865,149 | 65.5 |
| 後期高齢者医療事業 | 667,443,640 | 16.0 | 608,571,902 | 17.1 | 58,871,738 | 9.7 |
| 国民健康保険事業 | 2,209,868,036 | 10.3 | 1,927,884,985 | 9.0 | 281,983,051 | 14.6 |
| 介護保険事業 | 2,590,275,000 | 14.1 | 2,491,797,000 | 14.5 | 98,478,000 | 4.0 |
| 学校給食事業 | 787,215,340 | 89.2 | — | — | 787,215,340 | 皆増 |
| 合計 | 6,345,388,233 | 13.9 | 5,082,974,955 | 11.6 | 1,262,413,278 | 24.8 |

※繰入額は、一般会計からの繰入額から一般会計への繰出額を差し引いた額である。

一般会計からの繰入金総額は6,345,388,233円で、前年度と比較すると1,262,413,278円(24.8%)増加している。

これは主に、国民健康保険事業のその他一般会計繰入金が258,659,488円(52.2%)増加したこと、また、本年度より新たに学校給食事業特別会計が設置され、学校給食用食材費繰入金等が787,215,340円(皆増)増加したことによるものである。

(2) 歳入・歳出の状況

ア 公共用地取得事業特別会計

公共用地取得事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|-------------|---------------|--------------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 810,047,999 | 1,473,336,498 | △663,288,499 | △45.0 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 791,831,776 | 1,426,868,717 | △635,036,941 | △44.5 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 791,786,097 | 1,426,803,718 | △635,017,621 | △44.5 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 45,679 | 64,999 | △19,320 | △29.7 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 45,679 | 64,999 | △19,320 | △29.7 |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 0 | 0 | 0 | — |
| 単年度収支額 (G) | 0 | 0 | 0 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

公共用地取得事業特別会計の決算額は、歳入 791,831,776 円、歳出 791,786,097 円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が 635,036,941 円(44.5%)、歳出が 635,017,621 円(44.5%)減少している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は 45,679 円の黒字となるが、翌年度へ繰り越すべき財源が同額の 45,679 円であるため、実質収支額、単年度収支額はともに 0 円となっている。

(7) 歳 入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 810,047,999 | 791,831,776 | 791,831,776 | 0 | 0 | 97.8 | 100.0 |
| 5 | 1,473,336,498 | 1,426,868,717 | 1,426,868,717 | 0 | 0 | 96.8 | 100.0 |
| 増減 | △663,288,499 | △635,036,941 | △635,036,941 | 0 | 0 | 1.0 | 0.0 |

収入済額は 791,831,776 円で、前年度と比較すると 635,036,941 円(44.5%)減少している。

これは主に、市債の厚木秦野道路用地取得事業債(用地国債)が 490,000,000 円(94.6%)、財産収入の市有地売払収入が 106,909,665 円(13.7%)減少したことによるものである。

【款別収入状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|-------------|---------------|--------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 財産収入 | 673,080,560 | 779,990,225 | △106,909,665 | △13.7 |
| 繰入金 | 90,586,217 | 90,051,531 | 534,686 | 0.6 |
| 市債 | 28,100,000 | 521,400,000 | △493,300,000 | △94.6 |
| 諸収入 | 0 | 35,330,463 | △35,330,463 | 皆減 |
| 繰越金 | 64,999 | 96,498 | △31,499 | △32.6 |
| 合計 | 791,831,776 | 1,426,868,717 | △635,036,941 | △44.5 |

(イ) 歳出

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|-------------|----------|------|
| 6 | 810,047,999 | 791,786,097 | 18,145,679 | 116,223 | 97.7 |
| 5 | 1,473,336,498 | 1,426,803,718 | 46,264,999 | 267,781 | 96.8 |
| 増減 | △663,288,499 | △635,017,621 | △28,119,320 | △151,558 | 0.9 |

支出済額は791,786,097円で、前年度と比較すると635,017,621円(44.5%)減少している。

これは主に、公共用地先行取得事業費の厚木秦野道路用地取得事業費(用地国債)が490,142,065円(94.6%)、公債費の市債元金償還金(用地国債)が105,508,334円(13.5%)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、厚木秦野道路用地取得事業費(用地国債)の事故繰越し18,145,679円である。

不用額は116,223円で、前年度と比較すると151,558円(56.6%)減少している。

【款別支出状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|-------------|-------------|---------------|--------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 公債費 | 763,666,777 | 869,441,814 | △105,775,037 | △12.2 |
| 公共用地先行取得事業費 | 28,119,320 | 522,031,441 | △493,912,121 | △94.6 |
| 繰出金 | 0 | 35,330,463 | △35,330,463 | 皆減 |
| 合計 | 791,786,097 | 1,426,803,718 | △635,017,621 | △44.5 |

(ウ) 市 債

市債現在高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 区 分 | 5年度末 現在高 | 6年度 発行額 | 6年度 元金償還金額 | 6年度末 現在高 |
|-----------------------------|---------------|------------|---------------|---------------|
| 公共用地取得事業債 | 404,624,036 | 0 | 88,548,451 | 316,075,585 |
| 厚木秦野道路 用地取得事業債 (用地国債) | 1,426,858,334 | 28,100,000 | 673,441,666 | 781,516,668 |
| 合 計 | 1,831,482,370 | 28,100,000 | 761,990,117 | 1,097,592,253 |

本年度末の市債現在高は1,097,592,253円で、前年度末現在高1,831,482,370円と比較すると733,890,117円(40.1%)減少している。

これは主に、用地国債先行取得制度を活用した厚木秦野道路用地取得事業債の発行額が490,000,000円(94.6%)減少したこと、また、過年度の市債借入に係る償還が進んだことによるものである。

イ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 4,281,976,000 | 3,660,267,000 | 621,709,000 | 17.0 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 4,169,864,364 | 3,565,225,838 | 604,638,526 | 17.0 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 4,130,842,382 | 3,525,199,302 | 605,643,080 | 17.2 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 39,021,982 | 40,026,536 | △1,004,554 | △2.5 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 39,021,982 | 40,026,536 | △1,004,554 | △2.5 |
| 単年度収支額 (G) | △1,004,554 | 362,683 | △1,367,237 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

後期高齢者医療事業特別会計の決算額は、歳入 4,169,864,364 円、歳出 4,130,842,382 円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が 604,638,526 円(17.0%)、歳出が 605,643,080 円(17.2%)増加している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに 39,021,982 円である。

単年度収支額は 1,004,554 円の赤字となっている。

(7) 歳 入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 4,281,976,000 | 4,196,297,507 | 4,169,864,364 | 2,275,544 | 24,157,599 | 97.4 | 99.4 |
| 5 | 3,660,267,000 | 3,588,995,097 | 3,565,225,838 | 2,651,229 | 21,118,030 | 97.4 | 99.3 |
| 増減 | 621,709,000 | 607,302,410 | 604,638,526 | △375,685 | 3,039,569 | 0.0 | 0.1 |

収入済額は 4,169,864,364 円で、前年度と比較すると 604,638,526 円(17.0%)増加している。

これは主に、後期高齢者医療保険料の現年度分保険料が 542,992,911 円(18.7%)、繰入金の保険基盤安定繰入金が 51,524,972 円(12.5%)増加したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て後期高齢者医療保険料である。

【款別収入状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|----------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 後期高齢者 医療保険料 | 3,456,342,287 | 2,911,961,075 | 544,381,212 | 18.7 |
| 財産収入 | 105,609 | 83,576 | 22,033 | 26.4 |
| 繰入金 | 667,443,640 | 608,571,902 | 58,871,738 | 9.7 |
| 繰越金 | 40,026,536 | 39,663,853 | 362,683 | 0.9 |
| 諸収入 | 5,946,292 | 4,945,432 | 1,000,860 | 20.2 |
| 合計 | 4,169,864,364 | 3,565,225,838 | 604,638,526 | 17.0 |

なお、後期高齢者医療保険料(現年度分・滞納繰越分別)の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|---------|-------|---------------|---------------|-----------|------------|------|
| 6 年度 | 現年度分 | 3,461,451,760 | 3,448,120,144 | 2,200 | 13,329,416 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 21,323,670 | 8,222,143 | 2,273,344 | 10,828,183 | 38.6 |
| | 合計 | 3,482,775,430 | 3,456,342,287 | 2,275,544 | 24,157,599 | 99.2 |
| 5 年度 | 現年度分 | 2,917,532,750 | 2,905,127,233 | 23,800 | 12,381,717 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 18,197,584 | 6,833,842 | 2,627,429 | 8,736,313 | 37.6 |
| | 合計 | 2,935,730,334 | 2,911,961,075 | 2,651,229 | 21,118,030 | 99.2 |
| 4 年度 | 現年度分 | 2,792,602,470 | 2,781,870,186 | 0 | 10,732,284 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 16,951,980 | 7,270,153 | 1,629,517 | 8,052,310 | 42.9 |
| | 合計 | 2,809,554,450 | 2,789,140,339 | 1,629,517 | 18,784,594 | 99.3 |

後期高齢者医療保険料の収入率は99.2%で、前年度と同様である。

(イ) 歳 出

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|--------|-------------|------|
| 6 | 4,281,976,000 | 4,130,842,382 | 0 | 151,133,618 | 96.5 |
| 5 | 3,660,267,000 | 3,525,199,302 | 0 | 135,067,698 | 96.3 |
| 増減 | 621,709,000 | 605,643,080 | 0 | 16,065,920 | 0.2 |

支出済額は4,130,842,382円で、前年度と比較すると605,643,080円(17.2%)増加している。

これは主に、後期高齢者医療広域連合納付金が597,273,039円(18.0%)増加したことによるものである。

不用額は151,133,618円で、前年度と比較すると16,065,920円(11.9%)増加している。

【款別支出状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|------------------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 総務費 | 70,643,423 | 67,075,328 | 3,568,095 | 5.3 |
| 後期高齢者 医療広域連合 納付金 | 3,919,863,342 | 3,322,590,303 | 597,273,039 | 18.0 |
| 諸支出金 | 5,493,930 | 4,641,650 | 852,280 | 18.4 |
| 保健事業費 | 134,841,687 | 130,892,021 | 3,949,666 | 3.0 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 4,130,842,382 | 3,525,199,302 | 605,643,080 | 17.2 |

(ウ) 被保険者数の状況

(単位:人)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 4年度 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 被保険者数 (年度末現在) | 33,347 | 31,956 | 30,348 |

本年度末の被保険者数は33,347人で、前年度と比較すると1,391人(4.4%)増加している。

ウ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 21,657,909,000 | 21,894,849,000 | △236,940,000 | △1.1 |
| 歳入決算額 (B) | 21,444,584,315 | 21,532,410,933 | △87,826,618 | △0.4 |
| 歳出決算額 (C) | 21,275,083,147 | 21,408,604,066 | △133,520,919 | △0.6 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 169,501,168 | 123,806,867 | 45,694,301 | 36.9 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 169,501,168 | 123,806,867 | 45,694,301 | 36.9 |
| 単年度収支額 (G) | 45,694,301 | 61,708,517 | △16,014,216 | △26.0 |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入 21,444,584,315 円、歳出 21,275,083,147 円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が 87,826,618 円(0.4%)、歳出が 133,520,919 円(0.6%)減少している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに 169,501,168 円である。

単年度収支額は 45,694,301 円の黒字となっている。

(7) 歳 入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|------------|-------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 21,657,909,000 | 22,321,188,690 | 21,444,584,315 | 95,402,569 | 781,201,806 | 99.0 | 96.1 |
| 5 | 21,894,849,000 | 22,366,184,602 | 21,532,410,933 | 70,994,398 | 762,779,271 | 98.3 | 96.3 |
| 増減 | △236,940,000 | △44,995,912 | △87,826,618 | 24,408,171 | 18,422,535 | 0.7 | △0.2 |

収入済額は 21,444,584,315 円で、前年度と比較すると 87,826,618 円(0.4%)減少している。

これは主に、繰入金のその他一般会計繰入金が 258,659,488 円(52.2%)増加したものの、国民健康保険事業基金繰入金が 300,349,000 円(38.0%)減少したことによるものである。

不納欠損額の内訳は、国民健康保険料 92,648,951 円、諸収入 2,753,618 円である。

収入未済額の内訳は、国民健康保険料 776,289,422 円、諸収入 4,912,384 円である。

【款別収入状況】

(単位:円・%)

| 款 | 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|----|----------------|----------------|--------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 国民健康保険料 | | 4,446,643,019 | 4,476,054,941 | △29,411,922 | △0.7 |
| 国庫支出金 | | 43,472,000 | 862,000 | 42,610,000 | 著増 |
| 県支出金 | | 14,069,941,457 | 14,186,166,725 | △116,225,268 | △0.8 |
| 財産収入 | | 684,661 | 534,695 | 149,966 | 28.0 |
| 繰入金 | | 2,699,868,036 | 2,718,233,985 | △18,365,949 | △0.7 |
| 繰越金 | | 123,806,867 | 62,098,350 | 61,708,517 | 99.4 |
| 諸収入 | | 60,168,275 | 88,460,237 | △28,291,962 | △32.0 |
| 合計 | | 21,444,584,315 | 21,532,410,933 | △87,826,618 | △0.4 |

なお、国民健康保険料(現年分・滞納繰越分別)の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-----|-------|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 6年度 | 現年分 | 4,558,178,700 | 4,222,486,360 | 116,600 | 335,575,740 | 92.6 |
| | 滞納繰越分 | 757,402,692 | 224,156,659 | 92,532,351 | 440,713,682 | 29.6 |
| | 合計 | 5,315,581,392 | 4,446,643,019 | 92,648,951 | 776,289,422 | 83.7 |
| 5年度 | 現年分 | 4,591,799,200 | 4,270,796,549 | 83,400 | 320,919,251 | 93.0 |
| | 滞納繰越分 | 709,945,567 | 205,258,392 | 70,116,512 | 434,570,663 | 28.9 |
| | 合計 | 5,301,744,767 | 4,476,054,941 | 70,199,912 | 755,489,914 | 84.4 |
| 4年度 | 現年分 | 4,745,151,600 | 4,445,941,825 | 0 | 299,209,775 | 93.7 |
| | 滞納繰越分 | 666,438,898 | 217,408,335 | 37,920,811 | 411,109,752 | 32.6 |
| | 合計 | 5,411,590,498 | 4,663,350,160 | 37,920,811 | 710,319,527 | 86.2 |

国民健康保険料の収入率は83.7%で、前年度に対して0.7ポイント低下している。

(イ) 歳 出

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------|--------------|------|
| 6 | 21,657,909,000 | 21,275,083,147 | 0 | 382,825,853 | 98.2 |
| 5 | 21,894,849,000 | 21,408,604,066 | 0 | 486,244,934 | 97.8 |
| 増減 | △236,940,000 | △133,520,919 | 0 | △103,419,081 | 0.4 |

支出済額は21,275,083,147円で、前年度と比較すると133,520,919円(0.6%)減少している。

これは主に、基金積立金の国民健康保険事業基金積立金が277,116,045円(104.6%)増加したものの、保険給付費の療養給付費(前年度の一般被保険者療養給付費)が258,112,914円(2.2%)、国民健康保険事業費納付金の医療給付費分(前年度の一般被保険者医療給付費分)が123,401,500円(2.8%)減少したことによるものである。

不用額は382,825,853円で、前年度と比較すると103,419,081円(21.3%)減少している。

【款別支出状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|------------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 総務費 | 350,730,913 | 302,676,167 | 48,054,746 | 15.9 |
| 保険給付費 | 13,760,611,875 | 14,014,951,506 | △254,339,631 | △1.8 |
| 国民健康保険 事業費納付金 | 6,448,477,409 | 6,628,615,422 | △180,138,013 | △2.7 |
| 保健事業費 | 158,353,553 | 180,123,752 | △21,770,199 | △12.1 |
| 基金積立金 | 542,144,234 | 265,028,189 | 277,116,045 | 104.6 |
| 諸支出金 | 14,765,163 | 17,209,030 | △2,443,867 | △14.2 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 21,275,083,147 | 21,408,604,066 | △133,520,919 | △0.6 |

(ウ) 被保険者数の状況

(単位:人)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 4年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 被保険者数 (年度平均) | 41,457 | 43,758 | 45,994 |

被保険者数は41,457人で、前年度と比較すると2,301人(5.3%)減少している。

エ 介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|----------------|----------------|---------------|------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 18,778,536,000 | 17,292,048,000 | 1,486,488,000 | 8.6 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 18,328,807,536 | 17,150,643,168 | 1,178,164,368 | 6.9 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 17,524,029,769 | 16,620,606,812 | 903,422,957 | 5.4 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 804,777,767 | 530,036,356 | 274,741,411 | 51.8 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 804,777,767 | 530,036,356 | 274,741,411 | 51.8 |
| 単年度収支額 (G) | 274,741,411 | △3,896,247 | 278,637,658 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

介護保険事業特別会計の決算額は、歳入 18,328,807,536 円、歳出 17,524,029,769 円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が 1,178,164,368 円(6.9%)、歳出が 903,422,957 円(5.4%)増加している。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに 804,777,767 円である。

単年度収支額は 274,741,411 円の黒字となっている。

(7) 歳 入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-----------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 18,778,536,000 | 18,370,117,999 | 18,328,807,536 | 7,717,301 | 33,593,162 | 97.6 | 99.8 |
| 5 | 17,292,048,000 | 17,191,612,698 | 17,150,643,168 | 6,267,307 | 34,702,223 | 99.2 | 99.8 |
| 増減 | 1,486,488,000 | 1,178,505,301 | 1,178,164,368 | 1,449,994 | △1,109,061 | △1.6 | 0.0 |

収入済額は 18,328,807,536 円で、前年度と比較すると 1,178,164,368 円(6.9%)増加している。

これは主に、繰入金介護保険事業基金繰入金が 443,654,000 円(皆減)減少したものの、保険料の第 1 号被保険者特別徴収保険料が 754,957,242 円(21.3%)、第 1 号被保険者普通徴収保険料が 111,053,307 円(30.5%)、支払基金交付金の介護給付費交付金が 289,405,000 円(7.0%)、県支出金の介護給付費負担金が 206,295,867 円(9.5%)増加したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て介護保険料である。

【款別収入状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 保 険 料 | 4,785,626,163 | 3,918,735,182 | 866,890,981 | 22.1 |
| 国庫支出金 | 3,276,760,511 | 3,192,516,737 | 84,243,774 | 2.6 |
| 支払基金交付金 | 4,574,372,993 | 4,259,089,489 | 315,283,504 | 7.4 |
| 県支出金 | 2,447,825,288 | 2,301,373,901 | 146,451,387 | 6.4 |
| 財産収入 | 4,276,118 | 773,768 | 3,502,350 | 452.6 |
| 繰入金 | 2,682,815,000 | 2,935,451,000 | △252,636,000 | △8.6 |
| 繰越金 | 530,036,356 | 533,932,603 | △3,896,247 | △0.7 |
| 諸収入 | 27,095,107 | 8,770,488 | 18,324,619 | 208.9 |
| 合 計 | 18,328,807,536 | 17,150,643,168 | 1,178,164,368 | 6.9 |

なお、介護保険料(現年度分・滞納繰越分別)の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-------------|-------|---------------|---------------|-----------|------------|------|
| 6 年 度 | 現年度分 | 4,791,626,464 | 4,774,763,299 | 11,158 | 16,852,007 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 35,310,162 | 10,862,864 | 7,706,143 | 16,741,155 | 30.8 |
| | 合 計 | 4,826,936,626 | 4,785,626,163 | 7,717,301 | 33,593,162 | 99.1 |
| 5 年 度 | 現年度分 | 3,924,195,439 | 3,908,752,750 | 9,396 | 15,433,293 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 35,509,273 | 9,982,432 | 6,257,911 | 19,268,930 | 28.1 |
| | 合 計 | 3,959,704,712 | 3,918,735,182 | 6,267,307 | 34,702,223 | 99.0 |
| 4 年 度 | 現年度分 | 3,918,748,928 | 3,904,026,428 | 333 | 14,722,167 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 38,224,794 | 12,601,121 | 5,364,768 | 20,258,905 | 33.0 |
| | 合 計 | 3,956,973,722 | 3,916,627,549 | 5,365,101 | 34,981,072 | 99.0 |

介護保険料の収入率は99.1%で、前年度に対して0.1ポイント上昇している。

(イ) 歳 出

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------|---------------|------|
| 6 | 18,778,536,000 | 17,524,029,769 | 0 | 1,254,506,231 | 93.3 |
| 5 | 17,292,048,000 | 16,620,606,812 | 0 | 671,441,188 | 96.1 |
| 増減 | 1,486,488,000 | 903,422,957 | 0 | 583,065,043 | △2.8 |

支出済額は17,524,029,769円で、前年度と比較すると903,422,957円(5.4%)増加している。

これは主に、地域支援事業費の包括的支援事業費が一般会計へ移管されたことにより370,941,639円(皆減)減少したものの、保険給付費の居宅介護サービス給付費が405,370,396円(6.0%)、施設介護サービス給付費が347,334,481円(8.0%)、地域密着型介護サービス給付費が170,953,651円(6.9%)、基金積立金の介護保険事業基金積立金が103,439,034円(著増)増加したことによるものである。

不用額は1,254,506,231円で、前年度と比較すると583,065,043円(86.8%)増加している。

【款別支出状況】

(単位:円・%)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 総務費 | 346,919,852 | 324,280,404 | 22,639,448 | 7.0 |
| 保険給付費 | 16,500,640,356 | 15,440,347,527 | 1,060,292,829 | 6.9 |
| 地域支援事業費 | 419,234,894 | 797,542,830 | △378,307,936 | △47.4 |
| 基金積立金 | 103,817,403 | 378,369 | 103,439,034 | 著増 |
| 諸支出金 | 153,417,264 | 58,057,682 | 95,359,582 | 164.2 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 17,524,029,769 | 16,620,606,812 | 903,422,957 | 5.4 |

(ウ) 被保険者数等の状況

(単位:人)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 4年度 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 被保険者数 (年度末現在) | 59,000 | 58,908 | 58,589 |
| 要介護(要支援) 認定者数 (年度末現在) | 10,209 | 9,838 | 9,332 |

本年度末の被保険者数は59,000人で、前年度と比較すると92人(0.2%)増加している。

本年度末の要介護(要支援)認定者数は10,209人で、前年度と比較すると371人(3.8%)増加している。

オ 学校給食事業特別会計

本年度より、市立小・中学校の学校給食の実施に必要な給食材料費に関する経費を明確化することを目的として、新たに設置した特別会計の決算となるため、前年度との比較ができない項目がある。

学校給食事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

| 区 分 | 6 年度 | 5 年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|-------------|------|------|-----|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 892,230,000 | — | — | — |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 882,516,130 | — | — | — |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 882,516,130 | — | — | — |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 0 | — | — | — |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | — | — | — |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 0 | — | — | — |
| 単年度収支額 (G) | 0 | — | — | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

学校給食事業特別会計の決算額は、歳入 882,516,130 円、歳出 882,516,130 円である。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに 0 円である。

(7) 歳 入

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 6 | 892,230,000 | 882,516,130 | 882,516,130 | 0 | 0 | 98.9 | 100.0 |
| 5 | — | — | — | — | — | — | — |
| 増減 | — | — | — | — | — | — | — |

収入済額は 882,516,130 円である。

【款別収入状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|-------------|------|------|-----|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減 | 増減率 |
| 学校給食費 | 95,300,790 | — | — | — |
| 繰入金 | 787,215,340 | — | — | — |
| 合計 | 882,516,130 | — | — | — |

本年度より、市立小・中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費を徴収しないこととしたため、給食材料費については、一般会計から受け入れている。なお、学校給食事業特別会計における学校給食費は、教職員等の給食材料費相当分で、調定額に対し、収入率は100.0%である。

(イ) 歳出

(単位:円・%・ポイント)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|--------|-----------|------|
| 6 | 892,230,000 | 882,516,130 | 0 | 9,713,870 | 98.9 |
| 5 | — | — | — | — | — |
| 増減 | — | — | — | — | — |

支出済額は882,516,130円である。

不用額は9,713,870円である。

【款別支出状況】

(単位:円・%)

| 区分 款 | 6年度 | 5年度 | 対前年度 | |
|---------|-------------|------|------|-----|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減 | 増減率 |
| 給食事業費 | 882,516,130 | — | — | — |
| 合計 | 882,516,130 | — | — | — |

(ウ) 児童・生徒数の状況

(単位:人)

| 区分 | 6年度 | 5年度 | 4年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 市立小学校児童数 (各年度5月1日現在) | 10,212 | 10,485 | 10,855 |
| 市立中学校生徒数 (各年度5月1日現在) | 5,517 | 5,600 | 5,677 |

本年度の児童数は10,212人で、前年度と比較すると273人(2.6%)減少している。

本年度の生徒数は5,517人で、前年度と比較すると83人(1.5%)減少している。

第7 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

土地の決算年度末現在高を前年度末現在高と比較すると 260,740.00 m²増加している。

これは主に、下古沢緑地(森の里紅葉台緑地)の帰属による増加である。

建物の決算年度末現在高を前年度末現在高と比較すると 1,568.30 m²増加している。

これは主に、厚木北公民館の新営による増加である。

(2) 物権（地上権）

決算年度末現在高は 147.09 m²で、前年度と同様である。

(3) 有価証券

決算年度末現在高は 53,779,900 円で、前年度と同様である。

(4) 出資による権利

決算年度末現在高は 1,010,300,218 円で、前年度と同様である。

| 区 分 | | 単位 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 | |
|------|---------------|------|----------------|---------------|------------|---------------|
| 公有財産 | 土 地 | 行政財産 | m ² | 3,011,395.93 | 261,571.89 | 3,272,967.82 |
| | | 普通財産 | m ² | 1,066,050.45 | △831.89 | 1,065,218.56 |
| | | 合 計 | m ² | 4,077,446.38 | 260,740.00 | 4,338,186.38 |
| | 建 物 | 行政財産 | m ² | 569,261.16 | 880.03 | 570,141.19 |
| | | 普通財産 | m ² | 4,156.33 | 688.27 | 4,844.60 |
| | | 合 計 | m ² | 573,417.49 | 1,568.30 | 574,985.79 |
| | 物 権 | | m ² | 147.09 | 0.00 | 147.09 |
| | 有 価 証 券 | | 円 | 53,779,900 | 0 | 53,779,900 |
| | 出 資 に よ る 権 利 | | 円 | 1,010,300,218 | 0 | 1,010,300,218 |

2 物 品

取得価格が 100 万円以上の物品は、決算年度末現在 1,235 件で、前年度末と比較すると 15 件増加している。

これは、ピアノ 2 件等 21 件が減少したものの、空調機器 10 件、牛乳保冷庫 3 件等 36 件が増加したものである。

| 区 分 | 単位 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|-----|----|---------|----------|----------|
| 物 品 | 件 | 1,220 | 15 | 1,235 |

3 資金積立基金

(単位:円)

| 区 分 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|--------------------------|----------------|--------------|----------------|
| 財 政 調 整 基 金 | 16,028,766,086 | 283,461,017 | 16,312,227,103 |
| 国民健康保険事業基金 | 27,927,109 | 52,144,234 | 80,071,343 |
| 社 会 福 祉 基 金 | 204,325,418 | 0 | 204,325,418 |
| 地方改善住宅新築等資金 借入金償還準備基金 | 8,039,000 | 0 | 8,039,000 |
| 国 際 交 流 基 金 | 53,090,107 | 0 | 53,090,107 |
| 和 田 傳 文 学 基 金 | 3,002,531 | △832,944 | 2,169,587 |
| み ど り の 基 金 | 177,040,661 | 385,500 | 177,426,161 |
| 松川サク工業振興基金 | 6,378,113 | △266,135 | 6,111,978 |
| 文化芸術振興基金 | 1,218,353 | 0 | 1,218,353 |
| ス ポ ー ツ 振 興 基 金 | 3,688,779 | 0 | 3,688,779 |
| 庁 舎 整 備 基 金 | 8,044,965,308 | △291,304,484 | 7,753,660,824 |
| 介 護 保 険 事 業 基 金 | 1,775,455,772 | 103,817,403 | 1,879,273,175 |
| 一般廃棄物処理施設建設基金 | 3,324,826,184 | 9,296,524 | 3,334,122,708 |
| S E L 教 育 基 金 | 8,575,619 | △1,067,490 | 7,508,129 |
| 災 害 対 策 基 金 | 8,667,999 | 4,597 | 8,672,596 |
| 市 民 協 働 推 進 基 金 | 524,491 | 96,898 | 621,389 |
| 久 保 奨 学 金 基 金 | 141,048,077 | △7,642,869 | 133,405,208 |
| 里地里山保全等促進基金 | 19,792,471 | △2,295,800 | 17,496,671 |
| 久保子どもの未来応援基金 | 78,754,685 | △2,694,806 | 76,059,879 |
| 学 校 施 設 整 備 基 金 | 3,405,064,802 | 16,891,222 | 3,421,956,024 |
| 合 計 | 33,321,151,565 | 159,992,867 | 33,481,144,432 |

令和5年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金) 49,919,000円

令和5年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(久保子どもの未来応援基金) 7,130円

令和6年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金) 49,913,000円

令和6年度出納整理期間中の一般会計からの戻入額(S E L教育基金) 40,000円

資金積立基金の決算年度末現在高は、前年度末現在高より159,992,867円(0.5%)増加している。

第8 定額資金運用基金運用状況（出産費用貸付基金）

地方自治法第241条第5項の定額資金運用基金運用状況は、次のとおりである。

（単位：円）

| 区分 | 年度 | 前年度末 現在高 | 本年度運用状況 | | 決算年度末 現在高 |
|----|----|-------------|---------|-----|--------------|
| | | | 増 | 減 | |
| 現 | 金 | 449,000 | 250 | 250 | 449,000 |
| 貸 | 付 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 合 | 計 | 599,000 | 250 | 250 | 599,000 |

本基金は、市内に住所を有するなど一定の要件を満たす者が出産した場合において、その世帯の生活の安定と福祉の増進を図るため、当該世帯に貸し付けるためのものである。

定額資金運用基金の決算年度末現在高は599,000円で、前年度と同様である。

む す び

令和6年度一般会計・特別会計歳入歳出決算等の審査の概要は、以上述べたとおりである。

現在、我が国の経済は、令和7年7月内閣府「月例経済報告」において、「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。」とし、先行きについては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。」としている。

本市における財政状況を見ると、一般会計及び特別会計を合わせた実質収支額は6,275,833,278円となり、単年度収支額では1,785,075,941円の黒字となった。

一般会計については、歳入決算額は114,403,231,011円となり、前年度と比較すると7,423,133,159円(6.9%)増加した。なお、財源の根幹をなす市税については528,033,907円(1.1%)減少となった。これは主に市民税(個人、法人)の減少によるものである。

財源別に見ると、自主財源については、市税、繰越金などが減少したものの、繰入金、諸収入などが増加したことから、前年度と比較すると289,478,034円(0.5%)増加した。

一方、依存財源については、自動車取得税交付金などが減少したものの、市債、国庫支出金などが増加したことから、前年度と比較すると7,133,655,125円(16.5%)増加した。

この結果、自主財源比率は55.9%、前年度と比較すると3.6ポイント低下した。

歳出決算額は108,812,218,848円となり、前年度と比較すると7,164,027,016円(7.0%)増加した。

次に、特別会計については、新たに設置した厚木市学校給食事業特別会計を加えた5つの特別会計の歳入決算額は45,617,604,121円となり、前年度と比較すると1,942,455,465円(4.4%)増加し、一般会計からの繰入については1,262,413,278円(24.8%)増加した。

また、歳出決算額は44,604,257,525円となり、前年度と比較すると1,623,043,627円(3.8%)増加した。

次に、普通会計における財政力の強弱を示す財政力指数は1.17となり、前年度と比較すると0.02ポイント上昇し、昭和39(1964)年度以降、普通交付税不交付団体となる基準(1以上)を連続で維持し続けている。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は93.3%となり、4.8ポイント上昇した。財政運営の健全性を表す実質収支比率は9.7%となり、前年度と比較すると2.4ポイント上昇したものの、健全化判断比率については、各比率とも早期健全化基準値を大きく下回っている。

前述したように、本市の財政の健全性は保たれている状況にあるといえる。

国の毎月勤労統計調査令和6年分結果(速報)によると、1年間の働く人1人当たりの現金給与の総額は対前年比で2.9%増加し、33年ぶりの高い伸びであったが、物価の上昇には追いつかず、実質賃金は0.2%減少し3年連続のマイナスとなった。また、月例経済報

告において、足元では、通商政策などの影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じ個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっているだけでなく、金融資本市場の変動等の影響にも引き続き注意する必要があるといわれている。

このような状況の中、本年2月1日に市制施行70周年を迎えた本市では、現在、令和8年度を始期とする第11次厚木市総合計画の策定を進めている。引き続き必要な施策・事業の着実な推進と、持続可能な自主自立した財政運営の維持の両立に向け、都市基盤整備や公共施設の適切な維持管理など、より一層、効率的な行財政運営を図っていくことを望むものである。

その際、職員一人一人が変わらない本質と変化していくものの両方を大切にしつつ、前例踏襲にとらわれることなく、また、歳入の状況や将来負担を見極めながら、既存事業の見直し、スクラップ・アンド・ビルドの着実な実施など、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう健全な財政運営に努められることを併せて望むものである。